

since 1904

# UENO GAKUEN UNIVERSITY 2020

---

## 入学試験要項

---

上野学園大学

音楽学部 音楽学科

# 目次

募集概要	1
アドミッション・ポリシー「求める学生像」	2
アドミッション・ポリシー「入学者受入れ方針」	3
音楽学部入試のポイント	4～5
各入試方式の特徴および日程	6～7
特待生制度のご紹介	8～10
出願方法、検定料、合格発表、入学手続き等	11～13
初年度入学金・学納金等、受験特別措置について	14
試験当日の注意点	15
出願資格、出願資格を証明する書類	16
<b>AO入試</b>	18～23
<b>推薦入試</b>	
指定校推薦入試	26～27
一般公募推薦入試	28～29
吹奏楽部推薦入試	30～31
<b>選抜入試</b>	34～37
<b>試験科目・実技課題</b>	
AO入試	40～42
指定校推薦入試	43
一般公募推薦入試	44～47
選抜入試(日程A・日程B)／器楽・声楽・グローバル教養コース	48～59
選抜入試(日程A・日程B)／演奏家コース	60～63
<b>例題／課題曲</b>	
演奏家コース／例題／聴音・初見視唱	66～67
器楽・声楽・グローバル教養コース／課題曲／視唱課題曲	68～73
器楽・声楽・グローバル教養コース／例題／聴音	74
<b>各種選考試験</b>	
演奏家コース選考試験	76～77
器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験	78～79
<b>その他</b>	
奨学金/教育ローン/学生寮/講習会・音楽教室	82～85
<b>出願書類</b>	
推薦書	89～91

# 募集概要

修業年限	4年		
設置コース・ 専門	演奏家コース※	ピアノ (鍵盤楽器)	ピアノ、オルガン、チェンバロ
		弦楽器	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ギター、ハープ、 ヴィオラ・ダ・ガンバ、リュート
		管楽器	フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、 ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム、 リコーダー
		打楽器	
		声楽	
	器楽コース	ピアノ (鍵盤楽器)	ピアノ、オルガン、チェンバロ
		弦楽器	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ギター、ハープ、 ヴィオラ・ダ・ガンバ、リュート
		管楽器	フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、 ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム、 リコーダー
		打楽器	
	声楽コース	声楽	
	グローバル教養 コース	音楽学	一部入試では楽器演奏、音楽理論、ソルフェージュなしで受験で きます。(P.58)
		音楽教育	
文化創造 マネジメント		楽器演奏、音楽理論、ソルフェージュなしで受験できます。	
募集定員	100名(男・女)		

※演奏家コースは、一般公募推薦入試および、選抜入試(日程A・日程B)でのみ募集します。

## ■取得できる資格等

- ①卒業した者には学士(芸術学)の学位が与えられます。
- ②教職課程科目を履修し、所定の単位を取得した者には、中学校教諭一種免許状(音楽)および、高等学校教諭一種免許状(音楽)が与えられます。
- ③社会教育主事養成課程を履修し、所定の単位を取得した者には、社会教育主事養成課程修了証書が与えられます。

## アドミッション・ポリシー「求める学生像」

●上野学園大学の教育基本概念は、建学の精神「自覚」にある。これを基盤として、以下のような学生を求めている。

- ・ 「自覚」の精神をもって音楽芸術の演奏・研究に真剣に取り組む覚悟のある人。
- ・ 大学での学修の基礎となる技術と能力(ソルフェージュを含めて)をある程度備えている人。
- ・ 自分を深く見つめると共に他人をわかり、音と心において自然な交信のできる人。(アンサンブルにおける「和」の感性)
- ・ 高い芸術水準での演奏家を目指し、そのための努力を惜しまない自覚と資質とを持つ人(演奏家コース)。
- ・ 教育の道を志し、中学校・高等学校音楽科教員、社会教育主事の資格取得を目指す人。
- ・ 吹奏楽部で管楽器等に、あるいは合唱部で歌うことに親しんだ結果、本格的に勉強してその道に進みたいと希望する人。
- ・ 主体的・能動的な学びの中に身を置きたいと望む人。
- ・ 音楽の学びを通じて養われる集中力と持続力を、多方面で活用する意欲のある人。
- ・ グローバルな視野をもち、音楽文化を有意義に組織、活性化していく意欲と創意のある人。
- ・ 音楽を通して、社会・文化への貢献を果たしたいと願う人。

●各コース・専門の求める学生像は以下の通りである。

### 実技系：器楽コース／声楽コース／演奏家コース

鍵盤楽器：ピアノをはじめとする鍵盤楽器の基礎的な演奏技術と様式観を持ち、自らの能力を伸ばしていく意志のある人。演奏家を目指す人。アンサンブル能力を高めたいと思っている人。ピアノ教育に興味を持っている人。

弦楽器：理想に向かって自らの楽器演奏を探求できる人。仲間と共に、音楽を作り上げることに喜びを持つ人。音の追求に妥協しない人。

管・打楽器：演奏技術の習得にとどまらず、感性豊かな演奏家・教育者を目指す人。演奏を通して社会に発信できる資質を養うことを目指す人。

声楽：声を探し育て磨いていくという地道な鍛錬に耐えられる精神的・肉体的な強さを持っている人。声楽芸術に興味と探求心を持ち、さらに声楽芸術を通して社会に発信、貢献するという希望を持つ人。

### 研究系：グローバル教養コース

音楽学：歴史、哲学、思想など演奏以外の視点の幅広い領域から音楽を探求したいと考える人。  
また、自分自身の音楽的な関心を、言葉を通して深めていくために必要な国語力や英語力を有している人。

音楽教育：多様な生徒を音楽的にも人間的にも成長させられる音楽教育者を目指す人。

文化創造マネジメント：音楽を通じて社会を豊かにし、音楽活動や演奏家と社会をつなぐ実践的な人材となりえることを目指す人。

## アドミッション・ポリシー「入学者受入れ方針」

### ●入学者受入れ方針は以下の通りである。

鍵盤楽器：課題に沿って事前に準備した複数曲の基礎技術、作品に対する理解力、構成力、表現力、対位法音楽の演奏法、音に対する耳や感性等のほか、音楽に対する意欲と姿勢を総合的に判断する。

弦楽器：入試課題をこなし、本学での授業に対応できる基礎的な技術を兼ね備えている。表現力につなげられる、豊かな感性を持っている。和声感を有し、音程感覚に優れている。アンサンブルに適応できる協調性がある者。入学試験では、受験生の演奏に対し、以上の観点から、総合的に審査する。

管・打楽器：

器楽コース：各楽器の入試課題の演奏から、その時点での表現力、演奏技術の到達度や資質、意欲等を総合的に審査する(打楽器については、小太鼓かマリンバのどちらかで受験可能である)。

演奏家コース：より高度な入試課題の演奏から、表現力や作品の完成度、資質、意欲等を総合的に審査する。

声楽：日本語、外国語(伊語など)による基本的な声楽曲を数曲、事前に学習し暗譜して実際に歌ってもらい、その時点での表現力、資質、意欲等を総合的に審査する。

音楽学：「音楽にかかわる領域を深く広く学ぶ意思があるか。基礎的な文献を読解し、語学能力を習得する意思があるか。自分の考えを適切な方法で表現する力を持っているか。」を考慮して審査する。

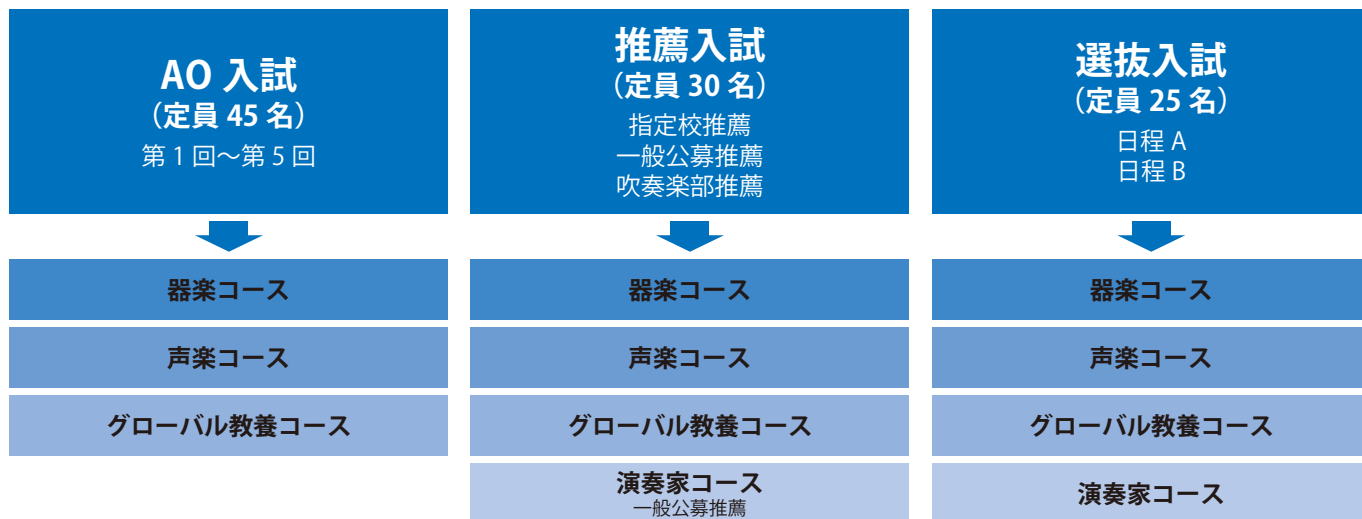
音楽教育：「人が好きか、教えることが好きか、音楽が好きかといった基本的な資質を大切にしながら、その能力を柔軟な感性をもって伸ばしたい意思があるか。教育的な活動において伸びていく可能性を思わせる基礎的の学力や精神力を持っているか。」を考慮して審査する。

文化創造マネジメント：「芸術文化活動に関して、積極的な興味を持っているか。創造的な活動に関して、伸びていく可能性を思わせる感性を持っているか。文章力・語学力あるいはパフォーマンスなどにおいてコミュニケーション能力や自己表現力を持っているか。」を考慮して審査する。また、AO入試では社会人入試を導入し、実社会での経験を音楽ビジネスに生かそうとする人材の再挑戦の場として位置づけている。

# 音楽学部入試のポイント

## ポイント1 入試は3つの方式で実施

本学での入試はAO入試、推薦入試、選抜入試の3つの方式があります。例えば段階を踏んで入試をしたい人向けにAO入試A方式、高校で吹奏楽部に所属していた人向けに吹奏楽部推薦入試といったように自分に合った入試でチャレンジできます。



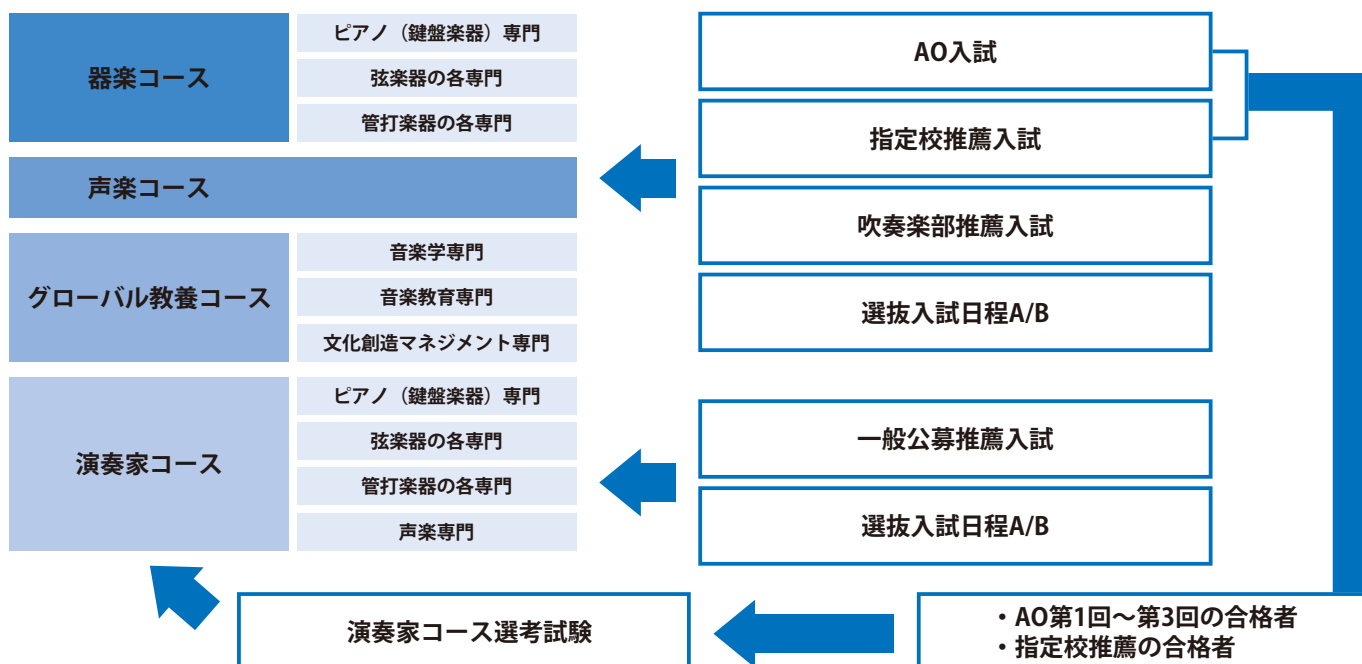
- ① A方式B方式の2方式から受験者が選択できる
- ② 副科ピアノ・ソルフェージュは合否に関係しない
- ③ 入学前の学習フォローがある
- ④ 演奏家コースへの転コースや、合格コース内での特待生にチャレンジできる。

- ① 指定校推薦は一般型、特待生型の2パターン
- ② 部活で忙しい吹奏楽部員を優遇した吹奏楽部推薦入試は入学前学習でサポート

- ① 2日～4日と連続した入試日程
- ② 日程A(2月)と日程B(3月)の2回の実施で全コースの受験が可能
- ③ 本学短期大学部や他コースとの併願が可能
- ④ 演奏家コース志願者は、出願=特待生選考
- ⑤ 器楽・声乐・グローバル教養コースの特待生選考は、出願時の希望制

## ポイント2 最適な受験プランを見つけよう

入試は8月～翌年3月に実施します。年間を通じてすべてのコースで受験可能です。特待生選考試験や演奏家コース選考試験を受けたい方は、まず早い時期の入試を受け、合格を決めた上で余裕を持って年明けの各種選考試験に挑戦するプランがおすすめです。



### ポイント3 試験科目も得意分野でチャレンジ

自分の得意な試験科目の組み合わせで入試を選ぶことが可能です。グローバル教養コースは科目の組み合わせが選択できる専門もあり、自信のある科目でチャレンジしてください。

#### ■選抜入試 試験科目

コース・専門 試験科目		演奏家・器楽・ 声楽コース	グローバル教養コース		
			音楽学専門	音楽教育専門	文化創造マネ ジメント専門
専門実技		○	—	—	—
グ ロ ー バ ル 教 養 コ ー ス 筆 記 試 験	音楽学英语※1／英語※2	—	○※1,3	—	○※2
	音楽学小論文	—	○	—	—
	音楽教育小論文	—	—	○	—
	文化創造マネジメント小論文	—	—	—	○※4
	個性表現	—	—	—	○※4
	コース面接	—	○	○	○
副科実技	副科ピアノ	○	○※3	○	—
	副科器楽	—			
筆記試験	音楽理論(楽典)	○		○	—
	ソルフェージュ	○		○	—
面接		○	○	○	○

※1 音楽に関係のある英文を出題

※2 英語は高等学校第3学年修了程度の英文を出題

※3 「音楽学英语」または「副科ピアノ(副科楽器)」を選択

※4 「文化創造マネジメント小論文」または「個性表現」を選択

### ポイント4 多様なニーズに対応できる入試内容

音楽大学といった専門性の高い分野でありながら幅広い層にも入学していただけるような本学独自の入試の工夫をしています。

#### ・楽器演奏不要で音大を目指せるコースあり

～文化創造マネジメント専門は音楽大学にも関わらず楽器演奏不要で受験ができます。

演奏経験はあまりない、演奏技術に自信はないが将来音楽に関わる仕事がしたいという方におすすめです。

#### ・ソルフェージュ(聴音)や副科ピアノ免除の入試あり

～普通科高校出身の方や、吹奏楽部所属で、現段階では専門楽器の他に音楽を専門で学んだことはないが音楽大学を目指したいという方におすすめです。音楽大学では必須のソルフェージュや副科ピアノを免除した入試を設置しています。合格してから入学までの事前学習ができる環境も整っています。

#### ・何度もチャレンジできる特待生制度あり

～年内入試で特待生に選出されなかった方でも、再度年明け入試でチャレンジできる特待生制度があります。年内入試で選出された特待生よりもっと上の特待生にチャレンジすることも可能です。

## 各入試方式の特徴および日程(2020年度入試)

入試方式	特待生関係	入試のポイント	こんな人にお勧め	各種選考試験への出願	区分	募集コース	
AO入試	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回～第3回で合格したら、合格を保有したまま特待生選考試験にチャレンジできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施方式は、「予備診断」と「最終試験」を別日に分けて実施する「A方式」、同日にまとめて実施する「B方式」の2方式。</li> <li>第1回～第3回で合格したら、合格を保有したまま演奏家コースにチャレンジできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早い時期に入学を決めた方。</li> <li>ソルフェージュ・副科ピアノ・副科器楽を専門的に学んだことのない方。</li> <li>調査書が推薦基準に達していない方。</li> </ul>	○	第1回	器楽コース 声楽コース グローバル教養コース	
				○	第2回		
				○	第3回		
					第4回		
					第5回		
社会人AO入試	<b>社会人AO入試のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施方式は「予備診断」と「最終試験」を別日に分けて実施する「A方式」、同日にまとめて実施する「B方式」の2方式。</li> <li>専門実技はレッスン形式で実施し、最終試験は小論文や自己プレゼンテーションにより選考するため、これまで音楽的基礎知識を身に付ける機会がなかった方にもおすすめ。</li> <li>第1回で合格し、入学手続きを済ませた方は、合格を保有したまま演奏家コース選考試験、または特待生選考試験にチャレンジできる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>所属高校が指定校認定されており、評定平均値が基準を満たしている方。</li> <li>早い段階で特待生に選出されたい方。</li> <li>吹奏楽部に所属しているが、ソルフェージュ・副科ピアノ・副科器楽を専門的に学んだことのない方。</li> </ul>	○	第1回	器楽コース 声楽コース グローバル教養コース	
		第2回					
		第3回					
留学生AO入試	<b>留学生AO入試のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施方式は「予備診断」と「最終試験」を別日に分けて実施する「A方式」、同日にまとめて実施する「B方式」の2方式。</li> <li>第1回で合格した方は、入学前学習として「冬期音楽受験講習会」の音楽基礎科目授業を無料で受講可能。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>所属高校が指定校認定されており、評定平均値が基準を満たしている方。</li> <li>早い段階で特待生に選出されたい方。</li> <li>吹奏楽部に所属しているが、ソルフェージュ・副科ピアノ・副科器楽を専門的に学んだことのない方。</li> </ul>	○	第1回	器楽コース 声楽コース グローバル教養コース	
	第2回						
推薦入試	<b>指定校推薦入試(一般型・特待生型)</b> 特待生型で選出されなかった場合でも合格基準に達していた場合は一般型で合格。再度特待生選考試験で特待生にチャレンジも可 <b>一般公募推薦入試</b> 出願者全員を対象に特待選考。特待生に選出されなかった場合でも合格基準に達していれば演奏家コースとして合格。	指定校推薦は一般型と特待生型から選択できる。※条件あり 吹奏楽部に所属している3年生は吹奏楽部推薦がおすすめ。※条件あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>所属高校が指定校認定されており、評定平均値が基準を満たしている方。</li> <li>早い段階で特待生に選出されたい方。</li> <li>吹奏楽部に所属しているが、ソルフェージュ・副科ピアノ・副科器楽を専門的に学んだことのない方。</li> </ul>	○	指定校(一般・特待生)	器楽コース 声楽コース グローバル教養コース	
				一般公募	演奏家コース		
					吹奏楽部	器楽コース ※条件あり	
選抜入試	<b>選抜入試(日程A・B)</b> 特待生選考試験 演奏家コースの特待生 出願時に第1希望を演奏家コースにした者全員対象 器楽・声楽・グローバル教養コースの特待生 出願時に特待生選考を希望した者のみ対象	演奏家コースは出願と同時に特待生へ選出される可能性あり。 器楽・声楽・グローバル教養コースは希望者のみ特待生へ選出される可能性あり。 短期大学部との併願が可能。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試までじっくりと準備を進めたい方。</li> <li>社会人の方で、演奏家コースを志望している方。</li> <li>国公立大学にもチャレンジしたい方。</li> </ul>		日程A	器楽コース 声楽コース グローバル教養コース	
					日程B	器楽コース 声楽コース グローバル教養コース 演奏家コース	



募集 定員	エントリー 締切日 (郵送必着)	予備診断日 (原則)	出願期間 (締切日消印有効)	最終試験日	合格発表日 (簡易書留にて郵送)	入学手続 期間 (締切日必着)	専願 or 併願可
45名	A	6月11日(火)	6月22日(土)	2019年 8月1日(木)～ 8月14日(水)	2019年 8月24日(土)	2019年 9月3日(火)	2019年 9月4日(水)～ 9月17日(火)
		7月9日(火)	7月21日(日)				
	B	出願期間と同じ	8月24日(土)				
	A	9月3日(火)	9月14日(土)	2019年 10月1日(火)～ 10月9日(水)	2019年 10月20日(日)	2019年 10月29日(火)	2019年 10月30日(水)～ 11月12日(火)
	B	出願期間と同じ	10月20日(日)				
	A	10月29日(火)	11月9日(土)	2019年 11月15日(金)～ 12月4日(水)	2019年 12月15日(日)	2020年 1月7日(火)	2020年 1月8日(水)～ 1月16日(木)
	B	出願期間と同じ	12月15日(日)				
	A	12月10日(火)	12月23日(月)	2020年 1月6日(月)～ 1月15日(水)	2020年 1月26日(日)	2020年 1月31日(金)	2020年 2月1日(土)～ 2月7日(金)
	B	出願期間と同じ	2020年1月26日(日)				
	A	2020年2月12日(水)	2020年2月22日(土)	2020年 3月9日(月)～ 3月17日(火) 18日(水) AMIに限り持参OK	2020年 3月25日(水)	2020年 3月25日(水)	2020年 3月26日(木)～ 3月27日(金)
B	出願期間と同じ	2020年3月25日(水)					
	A	10月29日(火)	11月9日(土)	2019年 11月15日(金)～ 12月4日(水)	2019年 12月15日(日)	2020年 1月7日(火)	2020年 1月8日(水)～ 1月16日(木)
	B	出願期間と同じ	12月15日(日)				
	A	12月10日(火)	12月23日(月)	2020年 1月6日(月)～ 1月15日(水)	2020年 1月26日(日)	2020年 1月31日(金)	2020年 2月1日(土)～ 2月7日(金)
	B	出願期間と同じ	1月26日(日)				
	A	2月12日(水)	2月22日(土)	2020年 3月9日(月)～ 3月17日(火) 8日(水) MIに限り持参OK	2020年 3月25日(水)	2020年 3月25日(水)	2020年 3月26日(木)～ 3月27日(金)
	B	出願期間と同じ	3月25日(水)				
	A	10月29日(火)	11月9日(土)	2019年 11月15日(金)～ 12月4日(水)	2019年 12月15日(日)	2020年 1月7日(火)	2020年 1月8日(水)～ 1月16日(木)
	B	出願期間と同じ	12月15日(日)				
	A	12月10日(火)	12月23日(月)	2020年 1月6日(月)～ 1月15日(水)	2020年 1月26日(日)	2020年 1月31日(金)	2020年 2月1日(土)～ 2月7日(金)
	B	出願期間と同じ	2020年1月26日(日)				
30名	—	—	—	2019年 11月1日(金)～ 11月7日(木)	2019年 11月17日(日)	2019年 11月26日(火)	2019年 11月27日(水)～ 12月6日(金)
	—	—	—	2019年 11月1日(金)～ 11月7日(木)	2019年 11月17日(日)	2019年 11月26日(火)	2019年 11月27日(水)～ 12月6日(金)
	—	—	—	2019年 11月1日(金)～ 11月7日(木)	2019年 11月17日(日)	2019年 11月26日(火)	2019年 11月27日(水)～ 12月6日(金)
25名	—	—	—	2020年 1月6日(月)～ 1月16日(木)	2020年 2月4日(火)～ 2月6日(木)	2020年 2月13日(木)	2020年 2月14日(金)～ 3月6日(金)
	—	—	—	2020年 1月6日(月)～ 1月16日(木)	2020年 2月6日(木)～ 2月9日(日) ※7日(金)・8日(土)実技	2020年 2月13日(木)	2020年 2月14日(金)～ 3月6日(金)
	—	—	—	2020年 2月20日(木)～ 3月5日(木)	2020年 3月15日(日)～ 3月16日(月) ※15日(日)実技	2020年 3月19日(木)	2020年 3月20日(金・祝) ～3月27日(金)

# 特待生制度のご紹介

## ■ 本学の特待生制度について

本学では、各コースの入試区分毎に学納金の一部を免除する特待生制度を設けています。特待生制度にはいくつかの種類があり、定める基準を満たした場合、最大で学納金の年額免除等の可能性があります。

## ■ 特待生制度の内容

器楽・声楽・グローバル教養コースと演奏家コースでそれぞれ特待生制度を設けており、入試区分ごとにも特待生の基準が異なります。まずは受験を希望するコースを決め、そのコースの特待生制度を確認してください。

### 【器楽・声楽・グローバル教養コース】

器楽・声楽・グローバル教養コースの特待生は2種類あります。

1. 選抜入試日程A及び日程B・特待生選考試験(AO入試第1回～第3回、指定校推薦入試で合格した方対象)

種類	人数	特待生の内容
特待生A	若干名	1年次の授業料年額の半額免除
特待生B		1年次の授業料30万円免除
特待生C	評価の範囲内	入学金免除

2. 指定校推薦入試

種類	人数	特待生の内容
特待生A	若干名	1年次の授業料年額の半額免除
特待生B		1年次の授業料30万円免除

### 【演奏家コース】

演奏家コースの特待生は2種類あります。

1. 一般公募推薦入試

種類	人数	特待生の内容
特待生S	若干名	入学金・授業料・施設設備資金の年額免除
特待生A		授業料年額の半額免除、一般維持費の年額免除
特待生UG		1年次の授業料30万円免除

2. 選抜入試日程A及び日程B・演奏家コース選考試験(AO入試第1回～第3回、指定校推薦入試で合格した方対象)

種類	人数	特待生の内容
特待生S	若干名	入学金・授業料・施設設備資金、年額免除
特待生A		授業料年額の半額免除、一般維持費年額免除
特待生B		授業料30万円免除
特待生C	評価の範囲内	入学金免除

## ■特待生入試への受験方法について

- ・特待生入試を受けたい場合は、本学が設定している入試区分に出願していただき試験を受ける必要があります。
- ・コース毎にいくつかの方法があるので、自分にあった入試形態で特待生へのチャレンジが可能です。

### 【器楽・声楽・グローバル教養コース】

- ①AO入試の第1回から第3回のいずれかに合格した後、特待生選考試験を受験する。
- ②指定校推薦入試に合格した後、特待生選考試験を受験する。
- ③指定校推薦入試(特待生型)を受験する。
- ④選抜入試 日程A(器楽・声楽・グローバル教養コース)を受験する。
- ⑤選抜入試 日程B(器楽・声楽・グローバル教養コース)を受験する。

### POINT!

③で特待生となった場合、特待生を保有したまま演奏家コース選考試験にチャレンジすることができます。  
 ※演奏家コースに合格した場合は、器楽・声楽・グローバル教養コースの特待生は放棄することになります。  
 出願方法や実技試験の課題曲など詳細については、それぞれの入試説明ページで確認してください。

区分	出願期間 (消印有効)	試験日程と試験内容	合格発表日 (簡易書留にて郵送)	入学手続期間 (必着)
①② 特待生 選考試験	2020年 1月6日(月)～ 1月16日(木)	2020年2月4日(火) [器楽・声楽コース]・専門実技 [グローバル教養コース]・音楽学・音楽教育専門 小論文 ・文化創造マネジメント専門 英語	2020年 2月13日(木)	2020年 2月14日(金)～ 3月6日(金)
③ 指定校 推薦入試 特待生型	2019年 11月1日(金)～ 11月7日(木)	2019年11月17日(日) [器楽・声楽コース(音楽科出身者)]・専門実技、面接 [器楽・声楽コース(普通科出身者)] ・専門実技、副科ピアノ(ピアノ専門以外)、面接 [グローバル教養コース(音楽科出身者・普通科出身者)] ・小論文、コース面接、面接 ※音楽学、音楽教育専門を志願する普通科出身者は、副科器楽の試験も課されます。	2019年 11月26日(火)	2019年 11月27日(水)～ 12月6日(金)
④ 選抜入試 日程A	2020年 1月6日(月)～ 1月16日(木)	2020年2月4日(火) [器楽・声楽コース]・筆記試験(音楽理論、ソルフェージュ) [グローバル教養コース:音楽教育専門] ・筆記試験(音楽理論、ソルフェージュ) 2月5日(水) [器楽・声楽コース]・専門実技、副科ピアノ(ピアノ専門以外) [グローバル教養コース:音楽学専門]・小論文か英語、コース面接 [グローバル教養コース:音楽教育専門] ・小論文、副科ピアノ(副科器楽)、コース面接 [グローバル教養コース:文化創造マネジメント専門] ・小論文か英語、個性表現、コース面接 2月6日(木) [器楽・声楽・グローバル教養コース]・面接	2020年 2月13日(木)	2020年 2月14日(金)～ 3月6日(金)

## 【演奏家コース】

⑥一般公募推薦入試を受験する。

⑦選抜入試 日程A(演奏家コース)を受験する。

⑧選抜入試 日程B(演奏家コース)を受験する。

出願方法や実技試験の課題曲など詳細については、それぞれの入試説明ページで確認してください。

区分	出願期間 (消印有効)	試験日程と試験内容	合格発表日 (簡易書留にて郵送)	入学手続期間 (必着)
⑥ 一般公募 推薦入試	2019年 11月1日(金)～ 11月7日(木)	2019年11月17日(日) 専門実技、副科ピアノ(ピアノ専門以外)、音楽理論、ソルフェージュ、面接	2019年 11月26日(火)	2019年 11月27日(水)～ 12月6日(金)
⑦ 選抜入試 日程A	2020年 1月6日(月)～ 1月16日(木)	2020年2月6日(木) 筆記試験(音楽理論、ソルフェージュ) 2月7日(金)・8日(土) ※2日のうちいずれかの日 専門実技 2月7日(金)・8日(土) ※2日のうちいずれかの日 副科ピアノ(ピアノ専門以外) 2月9日(日)面接	2020年 2月13日(木)	2020年 2月14日(金)～ 3月6日(金)
⑧ 選抜入試 日程B	2020年 2月20日(木)～ 3月5日(木)	2020年3月15日(日) 専門実技、副科ピアノ(ピアノ専門以外) 3月16日(月) 筆記試験(音楽理論、ソルフェージュ)、面接	2020年 3月19日(木)	2020年 3月20日(金・祝)～ 3月27日(金)

## ■特待生制度に関する追記事項

- この特待生制度の特典は、初年次(1年次)にのみ適用されます。2年次以降は各学年次学業成績優秀者を特待生として選出します。
- 「1年次の授業料年額の半額免除」とは、後期分の授業料減免となります。
- 「1年次の授業料30万円免除」とは、後期分の授業料から30万円減免となります。
- 演奏家コース特待生Sの場合、入学手続き時には一旦入学金を納付いただき、入学後に減免を実施します。
- 演奏家コース特待生UGの場合、後期分の授業料から30万円を減免します。
- 特待生Cの場合、入学手続き時には一旦入学金を納付いただき、入学後に減免を実施します。
- これらの減免を受けた者が次のいずれかに該当した場合は、減免取消しとなり、入学年度に遡及し免除された授業料を返金していただきます。

・学業成績不良

・素行不良

・遅刻・欠席が多い

・休学または退学

# 出願方法、検定料、合格発表、入学手続き等

## ■出願について

本学では簡単で安心なWeb出願を推奨しております。出願は、出願期間内にWeb出願システムから登録、検定料の納入、出願書類の郵送により完了します。

下記のガイダンスに従って、本学ホームページよりご利用いただけます。

◎上野学園大学Web出願システム URL <https://uenogakuen.campus-p.jp/entry/>

## ■Web出願ガイダンス

### Step1



#### 入学試験要項の確認

入学試験要項をよく読み、募集対象や受付期間をご確認ください。

※入学試験要項は本学ホームページでご確認いただけます。

### Step2



#### ユーザー登録

パソコン・スマートフォン・タブレット等を通じ、基本情報を入力してユーザー登録を行ってください。ユーザー登録を行うとマイページが作成されます。

※ユーザー登録するメールアドレスは、その後の連絡に使用するものになりますので、常に受信できるメールアドレスをご登録ください。

### Step3



#### マイページから出願登録

「AO 入試エントリー」または「出願」ボタンより手続きを行ってください。

※AO エントリー、出願手続きとも個人調書の入力が必要です。事前に回答を用意した上で手続きを行ってください。

※外国人留学生の方は別途提出書類が必要となりますので、事前に本学までお問い合わせください。

### Step4



#### 検定料の支払い

決済方法(コンビニエンスストア、クレジットカード、ペイジー利用の銀行決済)を選択できます。

### Step5



#### 必要書類と宛名ラベルの印刷

手続きが完了すると、登録内容が反映された書類と宛名ラベルを印刷できます(A4サイズ)。

### Step6



#### 必要書類の郵送

市販の角2封筒に宛名ラベルを貼り、必要書類を郵送してください。

### Step7



#### 大学より受験票が到着

必要書類を受理次第、本学より受験票、AO入試予備診断の場合は予備診断日時通知を発送します。

受験日当日または予備診断当日に持参ください。

## ■ 検定料

単願	43,000円
併願（上野学園大学音楽学部のコース併願）	65,000円
併願（大学と短期大学部の併願）	78,000円

※入試方式によって併願の内容が異なりますので、併願を希望される場合は各入試方式のページを参照してください。

## ■ 出願方法・出願に際しての注意点

### 1. 出願方法

検定料納付後、市販の角2封筒を使用し、簡易書留郵便で郵送してください。直接持参は受け付けません（AO入試第5回の出願については例外あり。7ページ、19ページ参照）。なお出願書類受理証明書等は発行しませんので、書留引受番号により志願者自身が確認してください。

### 2. 出願書類

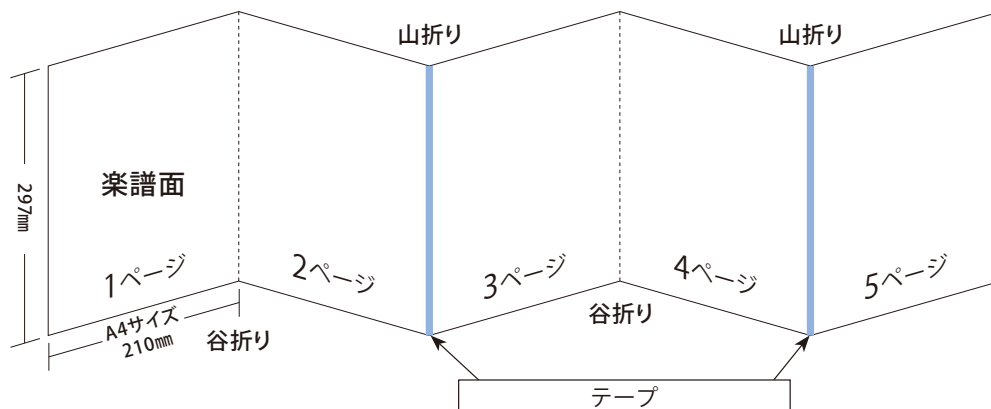
- 出願書類に不備や不足があった場合、出願を受け付けないことがありますので充分注意してください。
- 出願書類に偽造、虚偽記載があった場合は、不正行為とみなし入学試験の結果を無効とします。
- 一度受理した書類および検定料は原則として返還しません。ただし検定料を多く払い過ぎてしまった場合のみ超過分を返還いたします。該当する方は入試センターまでお問い合わせください。

## ■ 書類記入、提出の際の注意点

- 記入漏れや記載内容の誤りがあった場合は、書類を受理しません。ご注意ください。
- 書き損じた場合は修正テープ等を使用せず、二重線を引いて訂正印を押し、空いている箇所に書き直してください。
- 曲目記入欄には、曲名、作品番号、楽章、調名（声楽）を正確に記入してください。出願後の変更は認められません。
- 高等学校等コードは本学ホームページまたは独立行政法人大学入試センターホームページをご参照ください。
- 異なる入試方式に再度出願する場合は、その都度必要な書類を揃えて提出してください。

## ■ 提出する伴奏譜について

- ① 楽譜は1ページA4縦とし、ページが抜けないように注意してください。
- ② 楽譜面1ページの裏面に①曲名②志願者氏名を記入してください。
- ③ 2ページ以上になる場合は、アコーディオン状に折って、製本テープ等で貼ってください（下図参照）。



## ■ 合格発表方法

合格結果は、合格発表日に簡易書留で入学願書記載の住所に郵送します。電話でのお問い合わせには一切応じることはできませんのでご了承ください。なお合格発表日から（合格発表日を含み）3日経っても合格結果が届かない場合は、入試センターまでお電話ください。

## ■合格について

AO入試（第1回～第3回）までの入学手続き完了者、指定校推薦入試での入学手続き完了者は、合格の資格を保持したまま、「演奏家コース選考試験」または「器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験」のいずれかを受験することができます（76～79ページ参照）。

## ■補欠合格について

補欠合格は入学手続き者に欠員が出た場合に生じることがあります。選抜入試で補欠合格となった場合、該当者の入学願書記載の住所に簡易書留で詳細を郵送します。

## ■入学手続き

合格者には合格証とともに入学手続き書類を郵送します。下記①～③および、郵送された書類を確認の上、所定の入学手続き期間内に手続きをお済ませください。

- ①各入試方式の入学手続き期間内に、入学金および施設設備資金（合計550,000円）を本学指定の金融機関口座へ納付してください。
- ②下記の書類を入試センターに郵送してください（入学手続き期間内（必着）に本学に送付のこと）。
  - ・入学金および施設設備資金納入時に金融機関から受けとった「領収書」のコピー
  - ・受験票（入学試験終了後も大切に保管すること）
  - ・実技担当教員の希望調査票（入学手続き書類同封のものに必要事項を記入すること）※入学後、必ずしも希望通りになるとは限りません。あらかじめご了承ください。
- ③上記②の書類が本学に到着後、入学許可証を入学願書記載の住所宛にお送りします。なお入学手続き期間内に②の書類が本学に届かない場合、合格を放棄したものとみなしますのでくれぐれもご注意ください。

## ■入学辞退について

入学を辞退される方は、入試センター（電話03-3842-1024）へご連絡ください。「入学辞退に関する書類」を郵送します。必要事項を記入し、2020年3月19日（木）15時までに提出（郵送可）してください（※郵送の場合は必着のこと）。

書類確認後、施設設備資金（350,000円）を返金します。ただし、出願書類と入学金（200,000円）は、事情の如何に関わらず返却・返金はいたしません。

## ■入学金減免措置について

下記①または②のいずれかに該当する場合は、それぞれ5万円の入学金減免措置が適用されます。ただし受けられる減免措置は①②のどちらか一方のみとします。

- ①卒業生子女等の入学金減免措置（5万円減免）:本学園卒業生の子女、在籍生の兄弟姉妹の方が入学する場合。
- ②恵声会会員が実技指導する場合の入学金減免措置（5万円減免）:本学卒業生である恵声会会員が実技指導し、推薦する志願者が入学する場合。

減免措置を希望する際は、申請書類が必要である旨、入試センター（電話03-3842-1024）までお電話ください。書類が届きましたら、必要事項をご記入の上、本学までお送りください。

- ・書類の提出期限：2020年3月19日（木）必着にて入試センターへ提出（郵送可）してください。
- ・入学金減免の適用について：2020年4月に実施（予定）の入学式への出席を条件に5万円を減免（銀行振込みにて返金）いたします。※入学手続きの際は一旦納付していただきます

## ■上野学園教育充実協力金

現在上野学園では教育施設および設備の充実を始め、教育内容の一層の向上を図るべく各種の計画を立てています。つきましては2020年度に本学にご入学される新入生の方々に任意にて協力金（250,000円）をお願いしております。詳細につきましては入学手続き書類に同封いたします。

# 初年度入学金・学納金等、受験特別措置について

■初年度入学金・学納金等(2019年度参考金額) 2020年度の金額は、2019年11月中旬に決定します。

コース	演奏家コース	器楽・声楽 グローバル 教養コース (音楽学専門/ 音楽教育専門)	グローバル 教養コース (文化創造マネジ メント専門)	入学手続期間に 納入が必要なもの	2020年 4月15日までに 納入が必要なもの	備考
入学金	200,000円		200,000円	○		
授業料	1,545,000円	1,345,000円	807,000円※1		○ ※2	半期ずつの二期分納が可能
一般維持費	170,000円		95,000円		○ ※3	半期ずつの二期分納が可能
施設設備資金	350,000円		350,000円	○		2年次は年額400,000円
諸会費	26,300円		26,300円		○ ※4	校友会費、後援会費、 惠声会入会基金 半期ずつの二期分納が可能
学生諸費	3,300円		3,300円		○ ※5	各種演奏会鑑賞代、 レントゲン代 緊急連絡サービス加入代等
合計	2,294,600円	2,094,600円	1,481,600円			

- ※1 実技系授業科目を履修する場合は、別途オプション料金が必要となります。
- ※2 二期分納の場合、前期分(各コース授業料の半額)を2020年4月15日(水)までに、後期分(残り半額)を2020年10月15日(木)までに納入してください。
- ※3 二期分納の場合、前期分(各コース一般維持費の半額)を2020年4月15日(水)までに、後期分(残り半額)を2020年10月15日(木)までに納入してください。
- ※4 二期分納の場合、前期分13,150円を2020年4月15日(水)までに、後期分13,150円を2020年10月15日(木)までに納入してください。
- ※5 2020年4月15日(水)までに一括で納入してください。鑑賞する演奏会の種類の増減、各費用の料金改定等により、金額に変更が生じることがあります。
- ※ 上記入学金・学納金等には消費税は課税されません。
- ※ 入学金・施設設備資金以外の費用に関しては、在学期間中毎年スライド制にもとづいて改訂されることがあります。スライド制の基準は人事院勧告等によって発表される数値を参考として決定します。
- ※ 教職課程履修費は別途下記の金額(2019年度参考)が必要となります。納入期日や納入方法については入学後のガイダンスにてお知らせします。
- ※ 卒業年次に同窓会基金として12,000円を別途納付していただきます。
- ※ 必修科目以外の副科ピアノ、副科器楽、副科声楽の履修は、1単位43,000円が別途必要になります。
- ※ 上記入学金・学納金等は本学学生として必ず納付していただくものであり、いずれの項目も任意で納付を拒むことはできません。

項目	備考	初年次金額
教職課程履修費(年額)	当該課程履修者のみ	30,000円

## ■受験特別措置について

身体に障害がある、病弱である等の理由により、受験上の特別な措置および修学上の特別な配慮を必要とする志願者は、本学所定の申請書に必要な書類を添付し、入試センター宛てに郵送してください。申請が受理された後、必要に応じて、志願者または在学(出身)高等学校関係者と面談を行う場合がありますので、受験を希望する試験(入試方式・日程等)が決まり次第、入試センターへ申請書を請求してください。申請書を受け取り後、必要事項を記入し、書類を添付のうえ、希望する入学試験実施日までに余裕をもって提出(郵送)してください。

身体障害・病弱とは、次にあげるものです。

- ①視覚障害      ②肢体不自由      ③慢性の呼吸器/心臓/腎臓の疾患

[受験特別措置申請書に記載が必要な事項]

- (1) 氏名・フリガナ      (5) 障害(病気)の種類・程度  
 (2) 住所・連絡先      (6) 受験上の特別な措置を希望する事項  
 (3) 在学(出身)高等学校名      (7) 修学上の特別な措置を希望する事項  
 (4) 志願する入試方式・専門楽器      (8) その他、参考となる事項

[添付書類]

- (1) 身体障害者手帳のコピー(①視覚障害②肢体不自由)  
 (2) 医師の診断書(③慢性の呼吸器/心臓/腎臓の疾患)



# 試験当日の注意点

## ■試験当日の持ち物

- 受験票
  - 鉛筆またはシャープペンシル
  - 消しゴム
  - 定規
  - 時計(秒針音のするもの・時計以外の機能があるものは使用不可。また、携帯電話・スマートフォンを時計として使用することはできません)
  - 楽器(コントラバス、ハープ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、リュート、チューバ、マリンバについては本学備付のものを貸出することができます。ピアノ、オルガン、チェンバロについては本学備付のものを使用してください)
  - 楽譜(必要な場合のみ)
- ※マスクについては、本人確認のための写真照合の際や専門実技試験の際等に外していただくことがあります。

## ■受験票の携行と保管

試験中は受験票を常に携行してください。なお合格後、入学手続き時に受験票の提出が必要になりますので、試験終了後も大切に保管してください。

## ■昼食

試験日によって、本学食堂が利用できる日、または志願者自身に昼食を持参していただく日があります。詳細については受験票に記載します。

## ■試験中の外出

試験当日、最終試験の終了まで本学構内から外出することはできません。構内の所定の場所にて試験時間まで待機してください。また筆記試験中答案が完成した場合でも試験終了まで退室することはできません。

## ■不正行為

試験中に不正行為と見なされる行為の例を以下に記します。真剣な態度で試験に臨んでください。

- 筆記試験においてカンニングをすること
- 試験中に使用が認められていない物品を使用すること
- 筆記試験において試験開始・終了の合図の前後に、問題用紙・解答用紙に触れること
- 試験場において他の志願者の迷惑となる行為をすること
- 試験場において試験監督員等の指示に従わないこと
- その他、試験の公平性を損なう行為をすること

## ■不可抗力による事故等

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時間の繰り下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。なおその場合は、本学ホームページ(<http://www.uenogakuen.ac.jp/university/>)に掲載します。ただし、それに伴う志願者の不便、費用、その他の個人的損害については責任を負いかねます。

## ■欠席

- 個人的事由により欠席した場合、その試験を放棄したものとみなし不合格とします。
- AO入試「予備診断」を辞退する場合、その旨、入試センター(電話03-3842-1024)へ前日の15時までにお電話ください。
- インフルエンザ等感染症の罹患により欠席する場合、入試センターまでお電話ください。医師の診断書を確認した上で、振替受験等の措置をとることがあります。

## ■遅刻 ※試験当日は時間に余裕をもって本学までお越しください。

- 交通機関の乱れ等、本人の過失以外の事由による遅刻の場合は、受験を認めることがありますので、即座に入試センター(電話03-3842-1024)まで電話等で連絡の上、交通機関発行の遅延証明書を取得・持参してください。
- 本人の何らかの過失による遅刻については、原則として試験開始後5分までは受験を認めますが、試験時間の延長はありません。

## ■病気

試験中に気分が悪くなった場合、試験監督員等に申し出てください。医務室の看護師が対応します。

## ■付添者控室

本学3階学生食堂にてお待ちいただけます。

# 出願資格、出願資格を証明する書類

## ■ 出願資格

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、および2020年3月卒業見込みの方
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方、および2020年3月修了見込みの方（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した方を含む）、または文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた方
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方、および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの方
  - a. 外国において学校教育における12年の課程を修了した方（2020年3月31日修了見込みの方を含む）、またはこれに準ずる方で文部科学大臣の指定した方
  - b. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の該当課程を修了した方、および2020年3月31日までに修了見込みの方
  - c. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方、および2020年3月31日までに修了見込みの方
  - d. 文部科学大臣の指定した方
  - e. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した方（旧規程による大学入学資格検定に合格した方を含む）、および2020年3月31日までに合格見込みの方で、2020年3月31日までに18歳に達する方
  - f. その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方で2020年3月31日までに18歳に達する方

## ■ 出願資格を証明する書類

出願資格	出願時に提出する証明書類	注意事項
高等学校または中等教育学校卒業生 (卒業見込者)	在学(出身) 学校長が作成する調査書 (開封されたものは無効)	編入学・海外留学により単位認定を受けた場合は、単位を修得した学校の発行する成績や在籍、科目履修に関する証明書またはその写しを添付してください。
高等専門学校3年修了者(修了見込者) 在外教育施設卒業生(卒業見込者)		
高等学校または中等教育学校卒業生で、 保存年限(5年)が経過しているため調査書が発行されない方	①卒業証明書 ②調査書が発行されないことに関する理由書	①と②の両方を提出してください。 ②は書式自由(本人作成可)
外国における12年の学校教育の課程を修了した方(見込者)	①修了(見込)証明書 ②成績証明書(コピーでも可)	①と②の両方を提出してください。 また、日本の高等学校または中等教育学校にも在学した場合は、「日本の学校在学中の調査書」も提出してください。
高等学校卒業程度認定試験合格者(見込者) 大学入学資格検定合格者	合格(見込)成績証明書 (開封されたものは無効)	免除科目や免除見込科目がある場合、当該科目の単位修得証明書等は必要ありません。
その他高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる方(見込者)	①修了(見込)証明書 ②成績証明書	①と②の両方を提出してください。 また、出身学校長が作成する調査書がある場合は、左記①②に代えて調査書も提出してください。

※大学在学者または卒業生も、高等学校等の発行する証明書類が必要となります。

※一度提出された証明書類は、出願資格および評定平均値に変更がない限り、原則として差し替えを認めません。

# AO入試

## アドミッション・ポリシー「入試種別ごとの受入れ方針」

---

### AO入試

本学を専願とし、音楽の基礎能力を有する人物の受入れを目的としている。

事前にエントリーシートを提出し、予備診断にて面談および専門実技／グローバル教養コース専門科目の診断を行う。この予備診断を踏まえ、これまでの音楽学習歴、能力や適性、学習意欲等を考慮し、最終面接（学長、学部長）を通して総合的に判定する（合格後、特待生選考制度あり）。

### 社会人AO入試

職業キャリア、ボランティア等の社会的経験を持ち、具体的な職業像を目指す人物の受入れを目的としている。

事前にエントリーシートを提出し、予備診断にて面談および自己プレゼンテーションを行う。この予備診断を踏まえ、これまでの社会での活動経験や学習に対する意欲、個性と得意分野を考慮し、最終面接（学長、学部長）を通して総合的に判定する（合格後、特待生選考制度あり）。

### 留学生AO入試

本学において学修する意欲があり、音楽の基礎能力を有する外国人留学生の受入れを目的としている。

事前にエントリーシートを提出し、予備診断にて面談および専門実技／グローバル教養コース専門科目の診断を行う。この予備診断を踏まえ、これまでの音楽学習歴、能力や適性、学習意欲等を考慮し、最終面接（学長、学部長）を通して総合的に判定する（合格後、特待生選考制度あり）。

---

# AO入試

## 「予備診断」と「最終試験」の2段階型の専願入試

対象コース：器楽コース、声楽コース、グローバル教養コース（音楽学・音楽教育・文化創造マネジメント）

- ・エントリーシートに「本学を志望する理由」「これまでの音楽学習歴」等を記入し、予備診断に申込みをすることからスタートします。
- ・「予備診断」ではエントリーシートをもとにした面談および専門実技等を行うことで、受験生と本学が相互理解を深め、「最終試験」では志願者の能力や適性、学習に対する意欲、目的意識等を総合的に判定して可否を決めます。
- ・実施方式は、「予備診断」と「最終試験」を別日に分けて実施する「A方式」、同日にまとめて実施する「B方式」の2方式があります。

## ■出願資格

- 16頁に記載した出願資格に加え、本学の教育方針に賛同し、本学を専願とする方

### POINT!

#### ●ソルフェージュ・副科ピアノ・副科器楽を専門的に学んだことのない方でも、受験可能！

入学手続きを済ませたあとに、上野学園音楽教室（85ページ参照）等の講習を受講していただけます。詳細については予備診断実施後または、入学手続き時に個別にご案内します。エントリーシートに記載されている“ソルフェージュ学習歴有無”“副科器楽学習歴有無”の記入欄に○印を記入してください。

#### ●器楽コースまたは声楽コースと、グローバル教養コースの併願可能！

第1志望のコース予備診断に加え、グローバル教養コース主任教員による面談と小論文が課せられますが併願可能です。併願を希望する者は、エントリーシートおよび入学願書に記載されている併願コース記入欄に○印を記入してください。

#### ●年内のAO入試に合格すると、特待生か演奏家コースにチャレンジできる！

AO入試（第1回～第3回）で合格した場合、入学手続き完了後にその入学資格を保持したまま、「器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験」もしくは「演奏家コース選考試験」のいずれか受験できます。詳細は、76～79ページをご覧ください。※「器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験」と「演奏家コース選考試験」の両方に出願することはできません。

### 注意!

#### ●グローバル教養コース志願者（音楽学専門・音楽教育専門）の副科器楽について要確認

ピアノ/オルガン/チェンバロ/ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス/ギター/ハープ/ヴィオラ・ダ・ガンバ/リュート/フルート/オーボエ/クラリネット/ファゴット/サクソフォン/ホルン/トランペット/トロンボーン/チューバ/ユーフォニアム/リコーダー/打楽器（小太鼓またはマリンバ）のいずれかで受験できます。音楽学専門は、受験時の楽器が入学後の主たる副科となります。音楽教育専門は、受験時の楽器にかかわらず入学後の主たる副科はピアノとなります。

#### ●AO入試（第1回 or 第2回）の合格者で、入学手続きを済ませ、「一般公募推薦入試」を受験する場合は、AO入試の入学資格を放棄する必要があります。

## ■科目比重

◎器楽コース・声楽コース

コース	科目	専門実技	AO面談	面接・調査書ほか
器楽コース		100	30	30
声楽コース		100	30	30

◎グローバル教養コース（音楽学・音楽教育）

専門	科目	小論文	AO面談	面接・調査書ほか
音楽学		100	30	30
音楽教育		100	30	30

◎グローバル教養コース（文化創造マネジメント）

専門	科目	小論文 *1	英語 *1	個性表現 *1	AO面談	面接・調査書ほか
文化創造マネジメント		100	100	100	30	30

\*1 いずれか選択

## ■入試日程

AO入試 実施回	方式	エントリー締切日 (必着)	予備診断実施日 (原則)	出願期間 (消印有効)	入学試験日 (最終試験日)	合格発表日 (簡易書留にて郵送)	入学手続期間 (必着)
第1回	A	6月11日(火)	6月22日(土)	8月1日(木)～8月14日 (水)	8月24日(土)	9月3日(火)	9月4日(水)～ 9月17日(火)
		7月9日(火)	7月21日(日)				
	B	出願期間と同じ	8月24日(土)				
第2回	A	9月3日(火)	9月14日(土)	10月1日(火)～10月9日 (水)	10月20日(日)	10月29日(火)	10月30日(水) ～ 11月12日(火)
		出願期間と同じ	10月20日(日)				
	B	出願期間と同じ	10月20日(日)				
第3回	A	10月29日(火)	11月9日(土)	11月15日(金)～12月4日 (水)	12月15日(日)	2020年 1月7日(火)	2020年 1月8日(水)～ 1月16日(木)
		出願期間と同じ	12月15日(日)				
	B	出願期間と同じ	12月15日(日)				
第4回	A	12月10日(火)	12月23日(月)	2020年 1月6日(月)～1月15日 (水)	2020年 1月26日(日)	2020年 1月31日(金)	2020年 2月1日(土)～ 2月7日(金)
		出願期間と同じ	2020年 1月26日(日)				
	B	出願期間と同じ	2020年 1月26日(日)				
第5回	A	2020年 2月12日(水)	2020年 2月22日(土)	2020年 3月9日(月)～3月17日 (火) 18日(水)AMに限り持参 OK	2020年 3月25日(水)	2020年 3月25日(水)	2020年 3月26日(木)～ 3月27日(金)
		出願期間と同じ	2020年 3月25日(水)				
	B	出願期間と同じ	2020年 3月25日(水)				

# AO入試

本学のAO入試は年間を通して全5回あり、実施方式については、「予備診断」と「最終試験」を別日に分けて実施する「A方式」と同日にまとめて実施する「B方式」の2方式を設定しています。段階的にじっくり準備したいという方には「予備診断」と「最終試験」を別日に設定している「A方式」がおすすめ。遠方にお住まいの方には「予備診断」と「最終試験」を同日に実施する「B方式」がおすすめです。

## A方式 ■段階的な準備が可能です■

じっくり派の方におすすめ！

予備診断 + 最終試験

それぞれ別日に実施

### 1 予備診断

#### ①エントリーシート提出（予備診断の申込）

希望する予備診断実施日のエントリー締切日必着

#### ②予備診断のお知らせ

本学より郵送される「予備診断日時通知」を受け取る

- ・予備診断実施日の約1週間前を目処に、速達で郵送いたします。
- ・予備診断は、原則エントリーシートに記入していただいた希望日に実施しますが、別途日程調整が必要な場合もございます。

#### ③予備診断 ※ページ内右下に内容記載

#### ④予備診断結果通知

本学より郵送される「予備診断結果通知」を受け取る

- ・予備診断実施日の翌日から3日以内に、速達で郵送いたします。再度予備診断が必要だと判断された場合には、予備診断（2回目）のお知らせをします。

※AO入試（第1回～第3回まで）の予備診断の結果、適性があると認められた場合、音楽受験講習会（夏期・冬期）のうち音楽基礎科目授業については無料で受講することができます。

### 2 最終試験

#### ①出願手続

簡易書留郵便で郵送 最終試験各回の出願期間中の消印有効

#### ②受験票送付

本学より郵送される「受験票」を受け取る

- ・出願書類確認後、速達で郵送いたします。
- 最終試験日の集合時刻については受験票に記載します。

#### ③最終試験「面接」のみ

- ・予備診断の副科ピアノ、ソルフェージュの結果は合否判定には直接反映されませんが、その結果によっては「入学前学習」の受講をおすすめすることもあります。

#### ④合格発表

本学より郵送される「合否結果」を受け取る

- ・合格発表日に合否結果を簡易書留で郵送いたします。
- 合格者には入学手続書類を併せてお送りします。
- ・不合格となった場合でも、次のAO入試や選抜入試を受験することができます。

※第5回については、試験当日合否が決定し次第、希望者に対し、入試センター窓口にて結果通知を手交します。

## B方式 ■一度にまとめて受験可能です■

遠方にお住まいの方におすすめ！

予備診断/最終試験

同日にまとめて実施

### 1 予備診断 / 最終試験

#### ①出願（エントリーシート+入学願書一式）

簡易書留郵便で郵送 最終試験各回の出願期間中の消印有効

#### ②受験票送付

本学より郵送される「受験票」を受け取る

- ・出願書類確認後、速達で郵送いたします。最終試験日の集合時刻については受験票に記載します。

#### ③最終試験「予備診断」と「面接」（入学試験日1日で実施）

- ・副科ピアノとソルフェージュを予備診断として行いますが、その結果は合否判定には直接反映されません。

#### ④合格発表

本学より郵送される「合否結果」を受け取る

- ・合格発表日に合否結果を簡易書留で郵送いたします。
- ・合格者には入学手続書類を併せてお送りします。
- ・不合格となった場合でも、次のAO入試や選抜入試を受験することができます。※第5回については、試験当日合否が決定し次第、希望者に対し、入試センター窓口にて結果通知を手交します。

### ※予備診断各コースの内容

#### ①器楽コース/声楽コース

- 専門実技（レッスン形式）…課題曲は40～42ページ参照
- 副科ピアノ（レッスン形式）…課題曲は41ページ参照
- ソルフェージュ（レッスン形式）…8小節程度の旋律聴音
- 面談

#### ②グローバル教養コース

- (1) 音楽学専門
  - 小論文 ※1
  - 副科器楽（レッスン形式）…課題曲は41ページ参照
  - 面談
- (2) 音楽教育専門
  - 小論文 ※1
  - 副科器楽（レッスン形式）…課題曲は41ページ参照
  - ソルフェージュ（レッスン形式）…8小節程度の旋律聴音
  - 面談
- (3) 文化創造マネジメント専門
  - 小論文 ※1、英語 ※2、個性表現 ※3 のいずれかを選択し、エントリーシートに明記すること
  - 面談

※1 小論文は事前に課題をお送りしますので、あらかじめ作成し、予備診断当日に持参してください。この小論文をもとに面談を行います。

※2 難易度は高等学校第3学年修了程度の英文を出題します。

※3 個性表現とは、自分自身が最も得意とする表現（身体表現、楽器演奏、過去の顕彰、活動実績など）のプレゼンテーションを言います。詳しくは41ページを参照してください。

# 留学生AO入試

外国人留学生について、留学生AO入試を実施しています。入試の内容はAO入試（P18）を確認してください。

## ■出願資格

1. 外国において、学校教育における12年間の課程を修了した方、またはこれに準ずるもので文部科学大臣が指定した方
2. 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した方
3. 文部科学大臣が指定した方

## ■出願書類

1. 入学願書（本学所定の用紙）
2. 外国における最終出身学校の卒業または修了証明書（最終出身学校長発行の用紙）  
※ただし「見込証明書」の場合は、追って卒業証明書または修了証明書の提出を必要とします。
3. 外国における最終出身学校の学業成績証明書（最終出身学校長発行の用紙）
4. 健康診断書（医療機関発行の用紙）
5. 身元保証人の保証書（本学所定の用紙）
6. 学費負担者の誓約書（本学所定の用紙）
7. 学費負担者の残高証明書（銀行発行）
8. 日本語学校の成績証明書及び出席日数がわかる書類 ※現在在籍している場合
9. その他、必要と認める書類

注意：最終出身学校長や医療機関からの発行文書は、英語表記または日本語表記に限ります。

## ■保証人

身元保証人は、日本国内に居住し、身元確実な者で、一切の責任を負うことのできる者に限ります。

## ■入学試験選考

留学生の入学試験選考は、学力、人物および健康等について行うほか、本学在籍中に必要な日本語の能力につき、筆記・口述・その他の方法により選考します。

## ■入試日程

AO入試実施回	方式	エントリー締切日 (必着)	予備診断実施日 (原則)	出願期間 (消印有効)	入学試験日 (最終試験日)	合格発表日 (簡易書留にて郵送)	入学手続期間 (必着)
第1回	A	10月29日(火)	11月9日(土)	11月15日(金) ~12月4日(水)	12月15日(日)	2020年 1月7日(火)	2020年 1月8日(水) ~1月16日(木)
	B	出願期間と同じ	12月15日(日)				
第2回	A	12月10日(火)	12月23日(月)	2020年 1月6日(月) ~1月15日(水)	2020年 1月26日(日)	2020年 1月31日(金)	2020年 2月1日(土) ~2月7日(金)
	B	出願期間と同じ	2020年 1月26日(日)				

# 社会人AO入試

対象コース：器楽コース、声楽コース、グローバル教養コース（音楽学・音楽教育・文化創造マネジメント）

音楽を専門的に学びたいと希望する意欲旺盛な社会人の方に広く門戸を開くことを目的とした、社会人対象のAO入試です。AO入試は、「予備診断」と「最終試験」の2段階型入試です。レッスン形式による専門実技の予備診断と、小論文や自己プレゼンテーションによる選考のため、これまで実技の習得以外の音楽的基礎知識を身に付ける機会がなかった方にも、出願しやすい試験内容になっています。

実施の方式は、予備診断と最終試験を別日に分けて実施する「A方式」、同日にまとめて実施する「B方式」が各回で選択できます。

## ■出願資格

- 本学入学時（2020年4月）に、高等学校卒業または高等専門学校3年次修了より2年を経過した方。
- 本学の教育方針に賛同し、本学を専願とする方。

## POINT!

### ●ソルフェージュ・副科ピアノ・副科器楽を専門的に学んだことのない方でも受験可能！

器楽・声楽コースでは、専門実技試験に加え小論文と面接試験を実施しています。ソルフェージュや副科ピアノは、合格後に「受験講習会」「上野学園音楽教室」等でしっかりと学習できる環境を整えています。またグローバル教養コースでは、小論文・自己プレゼンテーションおよび面接試験が課されます。専門実技や音楽的基礎知識の習得に不安を感じている方でも安心してチャレンジできます。

## ■科目比重

◎器楽コース・声楽コース

コース	科目	専門実技	小論文	面接・調査書ほか
器楽コース		100	30	30
声楽コース		100	30	30

◎グローバル教養コース（音楽学・音楽教育）

専門	科目	小論文	自己プレゼンテーション	面接・調査書ほか
音楽学		100	30	30
音楽教育		100	30	30

◎グローバル教養コース（文化創造マネジメント）

専門	科目	自己プレゼンテーション	AO面談	面接・調査書ほか
文化創造マネジメント		100	30	30

## ■入試日程

AO入試実施回	方式	エントリー締切日 (必着)	予備診断実施日 (原則)	出願期間 (消印有効)	入学試験日 (最終試験日)	合格発表日 (簡易書留にて郵送)	入学手続期間 (必着)
第1回	A	10月29日(火)	11月9日(土)	11月15日(金)～ 12月4日(水)	12月15日(日)	2020年 1月7日(火)	2020年 1月8日(水)～ 1月16日(木)
	B	出願期間と同じ	12月15日(日)				
第2回	A	12月10日(火)	12月23日(月)	2020年 1月6日(月)～ 1月15日(水)	2020年 1月26日(日)	2020年 1月31日(金)	2020年 2月1日(土)～ 2月7日(金)
	B	出願期間と同じ	2020年 1月26日(日)				
第3回	A	2020年 2月12日(水)	2020年 2月22日(土)	2020年 3月9日(月)～ 3月17日(火) 18日(水)AMに限り持参OK	2020年 3月25日(水)	2020年 3月25日(水)	2020年 3月26日(木)～ 3月27日(金)
	B	出願期間と同じ	2020年 3月25日(水)				



## A方式 ■段階的な準備が可能です■

じっくり派の方におススメ！

予備診断



最終試験

それぞれ別日に実施

### 1 予備診断

#### ①エントリーシート提出（予備診断の申込）

希望する予備診断実施日のエントリー締切日必着

#### ②予備診断のお知らせ

- 本学より郵送される「予備診断日時通知」を受け取る
- ・予備診断実施日の約1週間前を目処に、速達で郵送いたします。
  - ・予備診断は、原則エントリーシートに記入していただいた希望日に実施しますが、別途日程調整が必要な場合もございます。

#### ③予備診断 ※ページ内右下に内容記載

#### ④予備診断結果通知

- 本学より郵送される「予備診断結果通知」を受け取る
- ・予備診断実施日の翌日から3日以内に、速達で郵送いたします。再度予備診断が必要だと判断された場合には、予備診断（2回目）のお知らせをします。
- ※社会人AO入試第1回の予備診断の結果、適性があると認められた場合、冬期音楽受験講習会のうち音楽基礎科目授業については無料で受講することができます。

### 2 最終試験

#### ①出願手続

簡易書留郵便で郵送 最終試験各回の出願期間中の消印有効

#### ②受験票送付

- 本学より郵送される「受験票」を受け取る
- ・出願書類確認後、速達で郵送いたします。
- 最終試験日の集合時刻については受験票に記載します。

#### ③最終試験

- ・最終試験は面接のみです。

#### ④合格発表

- 本学より郵送される「合否結果」を受け取る
- ・合格発表日に合否結果を簡易書留で郵送いたします。
  - ・合格者には入学手続書類を併せてお送りします。
  - ・不合格となった場合でも、次のAO入試や選抜入試を受験することができます。
- ※第5回については、試験当日合否が決定し次第、希望者に対し、入試センター窓口にて結果通知を手交します。

## B方式 ■一度にまとめて受験可能です■

遠方にお住まいの方におススメ！

予備診断/最終試験

同日にまとめて実施

### 1 予備診断/最終試験

#### ①出願（エントリーシート+入学願書一式）

簡易書留郵便で郵送 最終試験各回の出願期間中の消印有効

#### ②受験票送付

- 本学より郵送される「受験票」を受け取る
- ・出願書類確認後、速達で郵送いたします。最終試験日の集合時刻については受験票に記載します。

#### ③最終試験

- ・入学試験日1日で予備診断および最終試験（面接のみ）を行います。予備診断の内容はA方式と同様です。

#### ④合格発表

- 本学より郵送される「合否結果」を受け取る
- ・合格発表日に合否結果を簡易書留で郵送いたします。
  - ・合格者には入学手続書類を併せてお送りします。
  - ・不合格となった場合でも、次のAO入試や選抜入試を受験することができます。※第5回については、試験当日合否が決定し次第、希望者に対し、入試センター窓口にて結果通知を手交します。

### ※予備診断各コースの内容

#### ①器楽コース/声楽コース

- 専門実技（レッスン形式）…課題曲は40～42ページ参照
- 小論文…予備診断日当日に実施（60分）
- コース面談

#### ②グローバル教養コース

- (1) 音楽学専門/音楽教育専門
  - 小論文…予備診断日当日に実施（60分）
  - 自己プレゼンテーション※1
  - コース面談
- (2) 文化創造マネジメント専門
  - 自己プレゼンテーション※1
  - コース面談

※1 エントリーシートに記載の内容も含め、5分以内で自己紹介を行ってください。プレゼンテーションにあたってオーディオ機器、パソコン、プロジェクター、書画カメラ等が必要な場合は、事前に入試センター（03-3842-1024）までご連絡ください。



# 指定校推薦入試 一般公募推薦入試 吹奏楽部推薦入試

## アドミッション・ポリシー「入試種別ごとの受入れ方針」

---

### 指定校推薦入試

本学を専願とし、本学が指定した高等学校長（中等教育学校長）の推薦を受けた人物の受入れを目的としている。

音楽科／音楽コース等卒業見込みの者については、志願する専門により専門実技もしくは小論文の点数、グローバル教養コース面接の評価、さらに最終面接（学長、学部長）に加え、推薦書および調査書の評価を加えた総合的判定により合格者を決定する。

普通科卒業見込みの者については、志願する専門により専門実技もしくは小論文の点数、副科ピアノ（ピアノ専門は除く）の点数、グローバル教養コース面接の評価、さらに最終面接（学長、学部長）に加え、推薦書および調査書の評価を加えた総合的判定により合格者を決定する（特待生制度あり）。

### 一般公募推薦入試

本学を専願とし、高等学校長（中等教育学校長）の推薦を受け、かつ高レベルの演奏家コース特待生を目指す人物の受入れを目的としている。

この試験では、専門実技、副科ピアノ（ピアノ専門を除く）、音楽理論（楽典）、ソルフェージュの点数および最終面接（学長、学部長）に加え、推薦書および調査書の評価を加えた総合的判定により合格者を決定する。

### 吹奏楽部推薦入試

吹奏楽部連盟主催の吹奏楽コンクール等に出場する吹奏楽部に属している、本学を専願とする人物の受入れを目的としている。

専門実技は自由曲が課され、専門楽器のソロ曲のほか、吹奏楽コンクールで演奏したパート譜での受験も可能である。この専門実技の点数と面接（学長、学部長）の結果に加え、推薦書および調査書、部活動顧問発行の推薦書の評価を加えた総合的判定により合格者を決定する。

---

# 指定校推薦入試(一般型・特待生型)

## ■指定校推薦入試(一般型・特待生型)の特徴

「一般型」と「特待生型」の2種類から選択する専願入試

対象コース：器楽コース、声楽コース、グローバル教養コース(音楽学・音楽教育・文化創造マネジメント)

### 【一般型】

本学での勉学を強く希望し、本学を専願とする志願者で、高等学校長(中等教育学校長)の推薦が受けられ、かつ在学する高等学校(3年1学期または前期まで)または中等教育学校(後期課程、3年前期まで)の評定平均値が通知された基準を満たしている人(指定校に直接連絡します)。

### 【特待生型】

上記一般型の出願条件を満たし、かつ評定平均値が通知された基準を満たしている人(指定校に直接連絡します)。特待生は入学試験における専門別課題の成績によって選出される。

特待生に選出されなかった場合でも、合格基準を満たしていた場合は一般型で合格になります。

## ■出願資格

- 16頁に記載した出願資格に加え、下記のすべての要件を満たしている方
- 本学の教育方針に賛同し、本学を専願とする方
- 高等学校または中等教育学校を2020年3月卒業見込みの方
- 在学する高等学校長または中等教育学校長が推薦する方(評定平均値については、指定校に直接連絡します)

## POINT!

- 第1志望を器楽コースまたは声楽コースとする場合、グローバル教養コース(音楽学専門、音楽教育専門、または文化創造マネジメント専門)との併願が可能。

その場合、第1志望の試験科目に加え「小論文」と「コース面接」が課されます。

- 一般型で合格した場合、その資格を保有したまま、器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験または演奏家コース選考試験が受験できます。

「演奏家コース選考試験」の詳細は、本要項76ページをご覧ください。

「器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験」の詳細は、本要項78ページをご覧ください。

※「器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験」と「演奏家コース選考試験」の両方に受験することはできません。

- 特待生型で合格した場合、その資格を保有したまま、演奏家コース選考試験が受験できます。または器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験を受験し、指定校推薦入試で選出された特待生の種類よりも上の特待生を目指すことも可能です。

「演奏家コース選考試験」の詳細は、本要項76ページをご覧ください。

「器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験」の詳細は、本要項78ページをご覧ください。

※「器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験」と「演奏家コース選考試験」の両方に受験することはできません。

## ■科目比重

◎器楽コース・声楽コース

出身科・コース	科目	専門実技	副科ピアノ	面接・調査書 ほか
音楽科/音楽コース等出身		100	—	30
普通科等出身		100	20*	30

\*ピアノ専門除く

◎グローバル教養コース(音楽学専門・音楽教育専門) 高校出身科別・出身コース別

出身科・コース	科目	小論文	副科ピアノ (副科器楽)	コース面接	面接・調査書 ほか
音楽科/音楽コース等出身		100	—	10	30
普通科等出身		100	20	10	30

◎グローバル教養コース(文化創造マネジメント専門)

出身科・コース	科目	小論文	コース面接	面接・調査書 ほか
文化創造マネジメント		100	10	30

## ■入試日程

出願期間(消印有効)	入学試験日	合格発表日(簡易書留にて郵送)	入学手続期間(必着)
2019年11月1日(金) ┆ 2019年11月7日(木)	2019年11月17日(日)	2019年11月26日(火)	2019年11月27日(水) ┆ 2019年12月6日(金)

## ■特待生型の内容

指定校推薦入試（特待生型）は特待生Aと特待生Bがあります。器楽・声楽・グローバル教養コースで選出される特待生ではもっとも可能性の高い特待生制度です。

対象コース	種類	人数	特待生の内容
器楽コース 声楽コース グローバル教養コース	特待生A	若干名	1年次の授業料年額の半額免除
	特待生B		1年次の授業料30万円免除

この入試方式による特典は、初年次（1年次）にのみ適用されます。2年次以降は各年次学業成績優秀者を特待生として選出します。

特待生Aの場合、後期分の授業料を減免します。

特待生Bの場合、後期分の授業料から30万円を減免します。

この減免を受けた者が次のいずれかに該当した場合は、減免取消となり、入学年度に遡及し免除された授業料を返金していただきます。

- 学業成績不良
- 素行不良
- 遅刻・欠席が多い
- 休学または退学

## ■試験科目（一般型・特待生型）

試験科目は一般型と特待生型で区別はありませんが、現在所属している高校の学科（コース）が普通科か音楽科（音楽コースもしくはそれに準ずるコース）で違います。志願するコース・専門分野でも科目が違うので以下の表で確認してください。

### ●音楽科／音楽コースもしくはそれに準ずるコース卒業見込みの者

志願コース・専門		科目	面接	コース面接	専門別課題		副科ピアノ
					小論文	専門実技	
器楽コース	ピアノ（鍵盤楽器）	○	-	-	○【注1】	-	
	弦楽器/管楽器/打楽器	○	-	-	○【注1】	-	
声楽コース	声楽	○	-	-	○	-	
グローバル教養コース	音楽学・音楽教育	○	○	○	-	-	
	文化創造マネジメント	○	○	○	-	-	

#### 【注1】

以下の楽器の志願者は、それぞれ括弧内に示す楽器で受験することができます。

オルガン（ピアノ）、チェンバロ（ピアノ）、ヴィオラ（ヴァイオリン）、コントラバス（チェロ）、ヴィオラ・ダ・ガンバ（ヴァイオリン、チェロ、ギター、コントラバス）、リュート（ギター）、トロンボーン（ユーフォニアム）、チューバ（ユーフォニアム）

### ●普通科等卒業見込みの者

志願コース・専門		科目	面接	コース面接	専門別課題		副科ピアノ
					小論文	専門実技	
器楽コース	ピアノ（鍵盤楽器）	○	-	-	○【注1】	○【注2】	
	弦楽器/管楽器/打楽器	○	-	-	○【注1】	○【注3】	
声楽コース	声楽	○	-	-	○	○	
グローバル教養コース	音楽学・音楽教育	○	○	○	-	○【注4】	
	文化創造マネジメント	○	○	○	-	-	

#### 【注1】

以下の楽器の志願者は、それぞれ括弧内に示す楽器で受験することができます。

オルガン（ピアノ）、チェンバロ（ピアノ）、ヴィオラ（ヴァイオリン）、コントラバス（チェロ）、ヴィオラ・ダ・ガンバ（ヴァイオリン、チェロ、ギター、コントラバス）、リュート（ギター）、トロンボーン（ユーフォニアム）、チューバ（ユーフォニアム）

#### 【注2】

ピアノ専門除く。オルガン専門およびチェンバロ専門は副科ピアノの試験が課されます。

#### 【注3】

弦楽器/ギター専門、およびヴィオラ・ダ・ガンバ専門またはリュート専門をギターで受験する場合には、副科ピアノの試験は課されません。

#### 【注4】

グローバル教養コース志願者（音楽学専門、音楽教育専門）は、ピアノ以外の楽器でも受験できます。ただし、本学器楽コースに設置される専門楽器に限ります（18ページ記載のAO入試注意事項参照）。

# 一般公募推薦入試

## ■一般公募推薦入試の特徴

### 専願入試

出願者全員を対象に特待生選考を行う。特待生に選出されなかった場合でも合格基準に達していれば演奏家コースとして合格。

対象コース：演奏家コース

## ■出願資格

- 16頁に記載した出願資格に加え、下記のすべての要件を満たしている方
- 本学の教育方針に賛同し、本学を専願とする方
- 高等学校または中等教育学校を2020年3月卒業見込みの方または卒業した方で入学時に20歳以下の方
- 在学する高等学校長または中等教育学校長が推薦する方

## POINT!

- 高等学校または中等教育学校を2020年3月卒業見込みの方またはすでに卒業している方でも入学時に20歳以下の方であれば出願可能

## ■特待生の内容

対象コース	種類	人数	特待生の内容
演奏家コース	特待生S	若干名	入学金・授業料・施設設備資金の年額免除
	特待生A		授業料年額の半額免除、一般維持費の年額免除
	特待生UG		1年次の授業料30万円免除

この入試方式による特典は、初年度（1年次）のみ適用されます。2年次以降は各年次学業成績優秀者を特待生として選出します。

演奏家コース特待生Sの場合、入学手続き時には一旦入学金を納付いただき、入学後に減免を実施します。

特待生Aの場合、後期分の授業料を減免します。

特待生UGの場合、後期分の授業料から30万円を減免します。

この減免を受けた者が次のいずれかに該当した場合は、減免取消しとなり、入学年度に遡及し免除された授業料等を返金していただきます。

- 学業成績不良 ●素行不良 ●遅刻・欠席が多い ●休学または退学

## ■科目比重

◎演奏家コース（専門別）

科目	専門	専門実技	副科ピアノ	音楽理論 ソルフェージュ	面接・調査書 ほか
ピアノ		150	—	30	10
オルガン/チェンバロ		150	20	30	10
弦楽器/管楽器/打楽器/声楽		150	20	30	10

## ■入試日程

出願期間（消印有効）	入学試験日	合格発表日（簡易書留にて郵送）	入学手続期間（必着）
2019年11月1日（金） } 2019年11月7日（木）	2019年11月17日（日）	2019年11月26日（火）	2019年11月27日（水） } 2019年12月6日（金）

## ■試験内容

下記の試験科目を実施します。

- 専門実技…課題曲(44～47ページ)を参照
- 副科ピアノ(ピアノ専門以外)…課題曲(44ページ)を参照
- 音楽理論…楽典(50分)
- ソルフェージュ…下記①と②を受験すること

① 初見視唱

② 聴音

ピアノ・オルガン・チェンバロ専門:8小節程度の単旋律聴音・2声聴音・和声聴音の合計3題

鍵盤楽器以外の各専門:8小節程度の旋律聴音1題

(66～67ページの例題参照)

- 面接

合否判定は、上記の試験科目の結果に加え、高等学校長または中等教育学校長発行の推薦書および調査書を加えた総合評価とします。

## ■注意事項

- ① 不合格の場合、本学で実施する他の入試方式を再受験することができます。
- ② 専願での受験のため、合格者は他大学の受験を放棄するものとみなします。
- ③ 本学の指定校推薦入試との併願はできません。

# 吹奏楽部推薦入試

## ■吹奏楽部推薦入試の特徴

専願入試

吹奏楽部に属している高校3年生が対象

対象コース：器楽コース※対象楽器あり

音楽理論、ソルフェージュ、副科ピアノの試験がなく、入学前の事前学習もサポート

## ■出願資格

- 16頁に記載した出願資格に加え、下記のすべての要件を満たしている方
- 本学の教育方針に賛同し、本学を専願とする方
- 高等学校または中等教育学校を2020年3月卒業見込みの方
- 在学する高等学校長または中等教育学校長が推薦する方
- 高等学校または中等教育学校を2020年3月卒業見込みの方

## POINT!

●音楽理論（楽典）、ソルフェージュ（聴音）、副科ピアノに自信がない方向き、入学前の事前学習もサポート

## ■募集専門

器楽コース

- コントラバス、ハープ
- フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン
- ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム
- 打楽器

※打楽器は小太鼓またはマリンバのいずれかで受験すること

## ■科目比重

◎器楽コース(募集の全専門共通)

科目	専門実技	面接・調査書 ほか
専門 募集の全専門共通	100	50

## ■入試日程

出願期間(消印有効)	入学試験日	合格発表日(簡易書留にて郵送)	入学手続期間(必着)
2019年11月1日(金) } 2019年11月7日(木)	2019年11月17日(日)	2019年11月26日(火)	2019年11月27日(水) } 2019年12月6日(金)



## ■試験内容

下記の試験科目を実施します。

### ●専門実技

自由曲(1曲)…専門楽器のソロ曲のほか、吹奏楽コンクールで演奏したパート譜での受験も可

### ●面接

合否判定は、上記の試験科目の結果に加え、在学高等学校長または中等教育学校長発行の推薦書および調査書、部活動顧問発行の推薦書を加えた総合評価とします。

## ■冬期音楽受験講習会受講

入学手続きを済ませた方全員に、2019年12月24日(火)～27日(金)に行われる「冬期音楽受験講習会(大学受験コース)」の音楽基礎科目授業、専門実技レッスン、副科ピアノレッスンを受講していただき、その際に学習進捗の確認を行います(受講料無料)。

なお講習会の詳細については、入学手続き後に別途、個別にお知らせをします。

## ■事前相談・体験レッスン

### 希望する志願者のみ

入学試験で実施する専門実技試験での自由曲選曲や、合格後に学習する音楽基礎科目のことについてなど、出願前に相談を希望する志願者は、

- 本学教員による事前相談(要申込・無料)
- 本学教員による体験レッスン(要申込・無料)

にお申込みください。

[お申込先](#) [入試センター\(電話03-3842-1024\)](#)



# 選抜入試

日程A

日程B

## アドミッション・ポリシー「入試種別ごとの受入れ方針」

---

### 選抜入試

本学における学修に必要な資質を有する人物の受入れを目的としている。  
この試験では、専門実技、グローバル教養コース専門科目、副科実技、音楽理論（楽典）、ソルフェージュ、グローバル教養コース教員による面接のうち、志願する専門により定められている試験科目の点数および面接（学長、学部長）の総合的評価により合格者を決定する（特待生制度あり）。

---

# 選抜入試(日程A・日程B)

## ■選抜入試の特徴

他大学との併願、本学短期大学部及び大学各コース併願可能な入試

対象コース：演奏家コース、器楽コース、声楽コース、グローバル教養コース（音楽学・音楽教育・文化創造マネジメント）

試験科目は「専門実技」「副科ピアノ（副科器楽）」「音楽理論（楽典）」「ソルフェージュ」「面接」等  
特待生制度あり

## ■出願資格

- 16頁に記載した高等学校卒業および卒業見込要件を満たしている方が出願できます。

### POINT!

- 演奏家コースは出願するだけで特待生に選出される可能性あり
- 他大学とも併願可能

## ■科目比重

◎器楽コース・声楽コース・演奏家コース

科目	専門実技	副科ピアノ	音楽理論 ソルフェージュ	面接・調査書 ほか
ピアノ	100	—	30	20
オルガン/チェンバロ	100	20	30	20
弦楽器/管楽器/打楽器/声楽	100	20	30	20

◎グローバル教養コース(音楽学)

科目	小論文	副科ピアノ (副科器楽)	小論文	英語	コース面接	面接・調査書 ほか
音楽学	100	50	100	50	10	20

\*いずれか選択

◎グローバル教養コース(音楽教育)

科目	小論文	副科ピアノ (副科器楽)	音楽理論 ソルフェージュ	コース面接	面接・調査書 ほか
音楽教育	100	50	30	10	20

◎グローバル教養コース(文化創造マネジメント)

科目	小論文	英語	個性表現	英語	コース面接	面接・調査書 ほか
文化創造マネジメント	100	50	100	50	10	20

\*いずれか選択

## ■ 入試日程

区分	募集コース	出願期間 (消印有効)	試験スケジュール表 交付※ <sup>1</sup>	練習室使用 可能日※ <sup>2</sup>	試験日程と 試験内容	合格発表日 (簡易書留にて郵送)	入学手続期間 (必着)
日程A	器楽コース 声乐コース グローバル教養コース	2020年 1月6日(月) ～ 1月16日(木)	2020年 2月3日(月) 12:00～15:00 または 2月4日(火) 受付時	2020年 2月5日(水) 30分間	2020年 2月4日(火) 筆記試験 2月5日(水) 専門実技/副科実技※ <sup>3</sup> 2月6日(木) 面接	2020年 2月13日(木)	2020年 2月14日(金) ～ 3月6日(金)
日程A	演奏家コース	2020年 1月6日(月) ～ 1月16日(木)	2020年 2月5日(水) 12:00～15:00 または 2月6日(木) 受付時	2020年 2月7日(金) 30分間 ・ 2月8日(土) 30分間	2020年 2月6日(木) 筆記試験 2月7日(金) 専門実技/副科実技 2月8日(土) 専門実技/副科実技※ <sup>4</sup> 2月9日(日) 面接	2020年 2月13日(木)	2020年 2月14日(金) ～ 3月6日(金)
日程B	演奏家コース 器楽コース 声乐コース グローバル教養コース	2020年 2月20日(木) ～ 3月5日(木)	2020年 3月14日(土) 12:00～15:00 または 3月15日(日) 受付時	2020年 3月15日(日) 30分間	2020年 3月15日(日) 専門実技/副科実技 3月16日(月) 筆記試験※ <sup>5</sup> /面接	2020年 3月19日(木)	2020年 3月20日(金・祝) ～ 3月27日(金)

※<sup>1</sup> 試験スケジュール表は各試験日程初日の受付時に交付します。なお上表に記載のある前日の12:00～15:00の間に入試センター窓口にて交付しますので「受験票」を持参してください。保護者の方が代理で交付を受ける場合も「受験票」を持参してください。

※<sup>2</sup> 本学の練習室を使用することができる時間帯については、試験スケジュール表交付の際にお知らせします。

※<sup>3</sup> グローバル教養コース筆記試験、個性表現およびコース面接は2月5日(水)に実施します。

※<sup>4</sup> 専門実技と副科実技の実施日程は、2月7日(金)または2月8日(土)のどちらか一日で実施する場合、またはその両日で実施する場合があります。詳細については試験スケジュール表で確認してください。

※<sup>5</sup> グローバル教養コース筆記試験、個性表現およびコース面接は3月16日(月)に実施します。

## ■ 出願の流れ

### 1 出願手続き

出願書類に必要事項を記入し、所定の出願期間に出願手続きを行ってください。試験実施日の1週間前を目処に、受験票を速達で郵送します。

### 2 受験票送付

入学試験日の集合時刻についてはお送りする受験票に記載します。

### 3 試験時間表交付

試験期間中の試験スケジュール表を交付します。交付日時については上記の表を参照してください。

### 4 入学試験

次頁記載の試験科目を実施します。  
受験するコースの試験科目と試験日程を確認してください。

### 5 合格発表

合格発表日に合否結果を簡易書留で郵送します。  
また合格者には入学手続書類を併せてお送りします。

### 6 入学手続き

入学金等の納入や書類の提出が必要です。入学手続期間内に手続きを行ってください。詳細については合否結果とともにお知らせします。

# 選抜入試(日程A・日程B)

## ■試験科目(課題は48～63ページ参照)

試験科目		コース・専門 演奏家・器楽・声楽コース	グローバル教養コース		
			音楽学専門	音楽教育専門	文化創造マネジメント専門
専門実技		○	—	—	—
グローバル教養コース筆記試験	音楽学英語※1/英語※2	—	○※1,3	—	○※2
	音楽学小論文	—	○	—	—
	音楽教育小論文	—	—	○	—
	文化創造マネジメント小論文	—	—	—	○※4
	個性表現	—	—	—	○※4
	コース面接	—	○	○	○
副科実技	副科ピアノ	○	○※3	○	—
	副科器楽	—			
筆記試験	音楽理論(楽典)	○	—	○	—
	ソルフェージュ	○	—	○	—
面接		○	○	○	○

※1 グローバル教養コース(音楽学専門)の「音楽学英語」は、音楽に関係のある英文を出題します。

※2 グローバル教養コース(文化創造マネジメント専門)の「英語」は、高等学校第3学年修了程度の英文を出題します。

※3 グローバル教養コース(音楽学専門)では、試験科目として「音楽学英語」または「副科ピアノ(副科器楽)」を選択してください(詳細は58ページ参照)。

※4 グローバル教養コース(文化創造マネジメント専門)では、試験科目として「文化創造マネジメント小論文」または「個性表現」を選択してください(詳細は58ページ参照)。

選抜入試

## ■併願について

選抜入試では以下の併願が可能です。

第1志望	第2志望	器楽コース	声楽コース	グローバル教養コース	短期大学部音楽科	短期大学部音楽科併願の可否判定法
器楽コース	—	—	—	○※1	○※2	器楽コースの試験により判定
声楽コース	—	—	—	○※1	○	声楽コースの試験により判定
グローバル教養コース	—	—	—	—	○※3,4,5	副科実技試験により判定
演奏家コース	○※6	○※6	—	—	—	—

※1 グローバル教養コース併願者は、第1志望の試験科目に加え、下記の「小論文(文化創造マネジメント専門は英語)」と「コース面接」を受ける必要があります。  
【課題】

・音楽学専門 小論文…音楽に関わりのある題を出題します[60分]

・音楽教育専門 小論文…音楽または音楽教育に関係ある題を出題します[60分]

ただし、音楽または音楽教育に関する専門的な知識を必要としません。

・文化創造マネジメント専門 英語…難易度は高等学校第3学年修了程度の英文を出題します[60分]

※2 短期大学部音楽科との併願は、専門楽器が同一である場合に限りです。

※3 短期大学部音楽科との併願は、グローバル教養コース(音楽学専門・音楽教育専門)の受験時に副科器楽で選択した楽器での併願となります。  
例)グローバル教養コース(音楽学専門・音楽教育専門)の副科器楽をピアノで受験した場合→短期大学部音楽科ピアノ専門を併願

※4 音楽教育専門志願者は必ず副科ピアノを選択すること。

※5 文化創造マネジメント専門志願者の併願はできません。

※6 演奏家コース試験により判定

選抜入試(日程A・日程B)

## ■選抜入試志願者の特待生選考について

### 演奏家コース特待生選考

演奏家コースを第1志望とする全ての志願者が対象となります。

選考は専門実技試験の成績で行います。なお、第1志望「演奏家コース」、第2志望「器楽コースまたは声楽コース」を併願し、第2志望で合格した場合には特待生の選考対象とはなりません。

「選抜入試(日程A)」「選抜入試(日程B)」ともに特待生選考基準を満たしていた場合には、特待生として選出されます。

### 器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考

この特待生選考を希望する場合、入学願書の特待生選考希望欄に○をつけてください(表記がない場合は希望しないものとする)。

選考方法は専門実技試験(グローバル教養コースの場合、音楽学専門は英語、音楽教育専門は小論文、文化創造マネジメント専門は英語)の成績によって行われます。

なお、「選抜入試(日程A)」「選抜入試(日程B)」ともに特待生選考基準を満たしていた場合には、特待生として選出されます。

## ■特待生の内容

対象コース	種類	人数	特待生の内容
演奏家コース	特待生S	若干名	入学金・授業料・施設設備資金、年額免除
	特待生A		授業料年額の半額免除、一般維持費年額免除
	特待生B		授業料30万円免除
	特待生C	評価の範囲内	入学金免除
器楽コース 声楽コース グローバル教養コース	特待生A	若干名	1年次の授業料年額の半額免除
	特待生B		1年次の授業料30万円免除
	特待生C	評価の範囲内	入学金免除

※2019年度実績

この入試方式による特典は、初年度(1年次)のみ適用されます。2年次以降は各年次学業成績優秀者を特待生として選出します。

特待生S(演奏家コース)および特待生Cの場合でも、入学手続き時には一旦入学金を納付いただき、入学後に減免を実施します。

特待生Aの場合、後期分の授業料を減免します。

特待生Bの場合、後期分の授業料から30万円を減免します。

この減免を受けた者が次のいずれかに該当した場合は、減免取消しとなり、入学年度に遡及し免除された授業料等を返金していただきます。

●学業成績不良 ●素行不良 ●遅刻・欠席が多い ●休学または退学

※選抜入試(日程A)と選抜入試(日程B)の両方を受験した場合の特待生資格について

選抜入試(日程A)で合格し特待生となった者が、選抜入試(日程B)を受験する場合は、日程Aでの特待生資格を放棄するものとします。





# 試験科目・実技課題

AO入試

指定校推薦入試

一般公募推薦入試

選抜入試

## 器楽コース

<p>ピアノ (鍵盤楽器)</p>	<p>ピアノ (1) 下記の練習曲より任意の1曲 C.Czerny《50番練習曲》Op.740 Cramer=Bülow《60の練習曲》 M.Clementi《グラドス・アド・パルナツスム》(C.Tausig 編) M.Moszkowski《15の練習曲》 F.Chopin《練習曲 作品10》または《練習曲 作品25》 (2) W.A.Mozart もしくは L.van Beethoven の任意の《ソナタ》の第1楽章または終楽章 あるいは、F.Schubert、F.Mendelssohn、F.Chopin、R.Schumann、J.Brahms のピアノ作品より任意の1曲</p> <p>オルガン J.S.Bachのオルガン作品より任意の1曲。ただし、コラール作品(BWV599-BWV771)は除く。 ※ピアノで演奏する場合 J.S.Bach《平均律クラヴィーア曲集第1巻》より下記のうち2曲。演奏する曲は当日指定する。 BWV847, BWV851, BWV854, BWV856, BWV861, BWV866 【注意】①オルガンまたはピアノどちらの楽器を使用するか、AO入試エントリーシートの「予備診断で使用する楽器」欄に明記すること。 ②入学後、練習用パイプ・オルガンを各自確保すること。</p> <p>チェンバロ J.S.Bach《平均律クラヴィーア曲集第1巻》より下記のうち2曲。 BWV847, BWV851, BWV854, BWV856, BWV861, BWV866 【注意】①演奏する曲は、予備診断時に指定する。 ②ピアノで予備診断を受けることもできる。チェンバロまたはピアノどちらの楽器を使用するか、AO入試エントリーシートの「予備診断で使用する楽器」欄に明記すること。 ③入学後、練習用チェンバロを各自確保すること。</p>
<p>弦楽器</p>	<p>ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ギター、ハーブ 自由曲(1曲)(練習曲でもよい)。伴奏なし。 ただし、ヴァイオリンとチェロの志願者は、これに加えて任意の3オクターヴの長調および平行短調を演奏すること。 ・ヴァイオリン 音階：テンポの指定はなし。スラーは、2拍または4拍でかけること(音階参考譜例 P.42)。 ・チェロ 音階：テンポ、スラーの指定はなし(音階参考譜例 P.42)。 【注意】下記2種の楽器を志願する者に限り、それぞれ括弧内における楽器で予備診断を受けることもできる。 その場合は、AO入試エントリーシートの「予備診断で使用する楽器」欄に演奏する楽器名を明記すること。 ・ヴィオラ(ヴァイオリン) ・コントラバス(チェロ)</p> <p>ヴィオラ・ダ・ガンバ 自由曲(1曲) 【注意】ヴァイオリン、チェロ、ギター、コントラバスのいずれかで予備診断を受けることもできる。その場合はAO入試エントリーシートの「予備診断で使用する楽器」欄に演奏する楽器名を明記すること。</p> <p>リュート 自由曲(1曲)(練習曲を含む) 【注意】ギターで予備診断を受けることもできる。その場合は、AO入試エントリーシートの「予備診断で使用する楽器」欄に明記すること。</p>
<p>管楽器</p>	<p>フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム 自由曲(1曲)(練習曲でもよい)。伴奏なし。 【注意】①フルートで受験する者は、「自由曲(1曲)」に加え、選抜入試 器楽コース・フルート課題(1)「音階」を演奏すること。 「音階(参考譜例等)」については、本要項53ページ(選抜入試 器楽コース・フルート課題(1))を参照すること。 ②下記2種の楽器を志願する者に限り、それぞれ括弧内に示す楽器で受験することもできる。 その場合は、AO入試エントリーシートの「予備診断で使用する楽器」欄に演奏する楽器名を明記すること。 ・トロンボーン(バストロンボーン、もしくはユーフォニアム) ・テューバ(ユーフォニアム)</p> <p>リコーダー (1) J.van Eyck 《Der Fluyten Lust-hof》より、任意の1曲 ※楽器は、ソプラノリコーダーを使用すること。ピッチは自由とする。 (2) G.F.Händel 《Sonate F-dur für Blockflöte und B.C.》Op.1, No.11, HWV369 ※全楽章、通奏低音付き 【注意】①(2)は、必ず415Hzのトレブルリコーダーを使用すること(440Hzは不可)。 ②(1)、(2)は、予備診断当日省略を指示することもある。 ③(2)の伴奏者(チェンバロ)は、本学で用意する。 ④伴奏譜1部を製本し、エントリーシートとあわせて提出すること。 ※伴奏譜の作り方は12ページ参照。</p>
<p>打楽器</p>	<p>自由曲(1曲)(練習曲でもよい)。伴奏なし。 【注意】小太鼓またはマリンバ、どちらで受験するかをAO入試エントリーシートの「専門楽器」欄に明記すること。なお小太鼓で受験する場合、使用する楽器は受験生自身で用意すること。</p>

## 声乐コース

自由曲(1曲)(コンコーネ等の練習曲は含まない)

- 【注意】 ①歌詞は原語に限る。伴奏譜1部を製本し、エントリーシートとあわせて提出すること。  
②伴奏譜の作り方は12ページ参照。

## 副科ピアノ(器楽・声乐コース)

任意の《ソナタ》または《ソナチネ》の第1楽章か終楽章、あるいは同程度の楽曲

【注意】 ピアノ、ギターの志願者には副科ピアノは課されません。

## グローバル教養コース

(1)小論文(文化創造マネジメント専門においては小論文の選択者のみ)

エントリーシート到着後、本学から課題を郵送しますので、あらかじめ小論文を原稿用紙に書き、予備診断当日に持参してください。

(2)副科器楽(音楽学専門・音楽教育専門)

①ピアノで受験する場合

任意の《ソナタ》または《ソナチネ》の第1楽章か終楽章、あるいは同程度の楽曲

②ピアノ以外の楽器で受験する場合

自由曲(1曲)(練習曲を含む)

※文化創造マネジメント専門では、副科器楽を課しません。小論文、英語、個性表現のいずれかを選択してください。

【注意】 ピアノ以外の楽器で受験する場合は、本学に設置されている器楽コースに含まれる専門楽器に限ります(18ページ参照)。

(3)聴音(音楽教育専門のみ)

■個性表現について ※文化創造マネジメント専門の同科目選択者は下記を参照してください。

個性表現とは、自分自身が最も得意とする表現(身体表現、楽器演奏、過去の頭彰、活動実績など)のプレゼンテーションを言います。所要時間5分以内で実施してください。

《具体例》

楽器演奏、ダンスの披露等のパフォーマンス、映像作品の紹介、ボランティア活動の報告、特技に関わる証明書(各種検定資格等)を携えての自己PR、等。

《本学で用意できる楽器》

大型楽器

※大型楽器の貸出について

ピアノ、オルガン、チェンバロについては、本学備付のものを使用してください。

コントラバス、ハープ、チューバ、マリンバ、ヴィオラ・ダ・ガンバについては、本学備付のものを貸出すことが可能です。

《本学で用意できる機器類》

オーディオ機器、パソコン、プロジェクター、書画カメラ、スクリーン

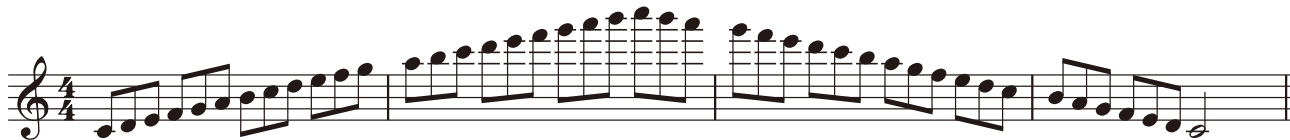
※上記機器類の使用を希望される方、また、自身で手配される方はその旨、事前にご連絡ください。

(連絡先:上野学園大学入試センター03-3842-1024)

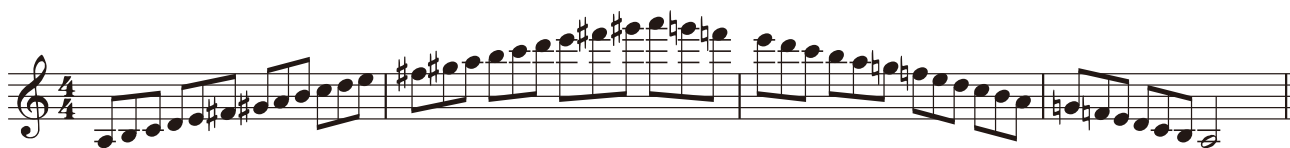
# AO入試 弦楽器 音階参考譜例

## ヴァイオリン 参考譜例

① C-dur



② a-moll



## チェロ 参考譜例

③ C-dur



④ a-moll



<p>専門別課題</p>	<p><b>[A] 器楽コース</b></p> <p>(a) ピアノ W.A.Mozart もしくは L.van Beethoven の任意の《ソナタ》の第 1 楽章または終楽章 あるいは、F.Schubert、F.Liszt、F.Chopin、R.Schumann、J.Brahms のピアノ作品より任意の 1 曲または 1 つの楽章 【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。</p> <p>(b) オルガン (1) オルガンで受験する場合 J.S.Bach のオルガン作品より任意の 1 曲。ただし、コラーレ作品 (BWV599-771) は除く。 (2) ピアノで受験する場合 J.S.Bach《平均律クラヴィーア曲集第 1 巻》より下記のうち任意の 1 曲。 BWV847、BWV851、BWV854、BWV856、BWV861、BWV866 【注意】 ①楽譜を見てもよい(譜めくりは志願者自身で行う)。 ②オルガンまたはピアノ、どちらの楽器で受験するか実技科目記入票「受験楽器」欄に明記すること。 ③入学後、練習用パイプ・オルガンを各自確保すること。</p> <p>(c) チェンバロ J.S.Bach《平均律クラヴィーア曲集第 1 巻》より下記のうち任意の 1 曲。 BWV847、BWV851、BWV854、BWV856、BWV861、BWV866 【注意】 ①楽譜を見てもよい(譜めくりは志願者自身で行う)。 ②上記課題をピアノで受験することもできる。 チェンバロまたはピアノ、どちらの楽器で受験するか実技科目記入票「受験楽器」欄に明記すること。 ③入学後、練習用チェンバロを各自確保すること。</p> <p>(d) 弦楽器(ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス/ギター/ハープ) 自由曲(1曲)(練習曲を含む) 【注意】 ①いずれも暗譜で演奏すること。伴奏なし。 ②下記の楽器を志願する者に限り、それぞれ括弧内に示す楽器で受験することもできる。 その場合は、実技科目記入票「受験楽器」欄に演奏する楽器名を明記すること。 ・ヴィオラ(ヴァイオリン) ・コントラバス(チェロ)</p> <p>(e) 弦楽器(ヴィオラ・ダ・ガンバ) 自由曲(1曲)(練習曲を含む) 【注意】 ①楽譜を見てもよい。伴奏なし。 ②上記課題をヴァイオリン、チェロ、コントラバス、ギターで受験することもできる。 その場合、実技科目記入票「受験楽器」欄に演奏する楽器名を明記すること。</p> <p>(f) 弦楽器(リュート) 自由曲(1曲)(練習曲を含む) 【注意】 ①楽譜を見てもよい。伴奏なし。 ②上記課題をギターで受験することもできる。その場合、実技科目記入票「受験楽器」欄に明記すること。</p> <p>(g) 管楽器(フルート/オーボエ/クラリネット/ファゴット/サクソフォン/ホルン/トランペット/トロンボーン/テューバ/ユーフォニアム) 自由曲(1曲)(練習曲を含む) 【注意】 ①楽譜を見てもよい。伴奏なし。 ②下記の楽器を志願する者に限り、それぞれ括弧内に示す楽器で受験することもできる。 その場合は、実技科目記入票「受験楽器」欄に演奏する楽器名を明記すること。 ・トロンボーン(バストロンボーン、もしくはユーフォニアム) ・テューバ(ユーフォニアム)</p> <p>(h) 管楽器(リコーダー) 自由曲(1曲)(練習曲を含む) 【注意】 楽譜を見てもよい。伴奏なし。</p> <p>(i) 打楽器(小太鼓/マリンバ) 自由曲(1曲)(練習曲を含む) 【注意】 ①楽譜を見てもよい。伴奏なし。 ②実技科目記入票「受験楽器」欄に演奏する楽器名を明記すること。 ③小太鼓で受験する場合、使用する楽器は志願者自身で用意すること。</p> <p><b>[B] 声楽コース</b> 自由曲(1曲)(コンコーネ等の練習曲は含まない) 【注意】 ①暗譜で演奏すること。歌詞は原語に限る。 ②伴奏譜 1 部を製本し、入学願書とあわせて提出すること。 ③伴奏者は本学で用意する。 ※伴奏譜の作り方は 12 ページ参照。</p> <p><b>[C] グローバル教養コース</b> (1) 小論文(60分) (2) コース面接: 口頭にて適性を問う</p>
<p>副科ピアノ (副科器楽)</p>	<p>任意の《ソナチネ》または《ソナタ》の第 1 楽章あるいは終楽章、または同程度の楽曲 【注意】 ①楽譜を見てもよい。譜めくりは、志願者自身で行う。 ②グローバル教養コース志願者がピアノ以外の楽器で受験する場合、課題曲は自由曲(1曲)(練習曲を含む)とする。 ③ピアノを専門的に学んだことのない者は、入学時まで以上に野学園音楽教室等のレッスンを受けていただくことがあります。</p>

# 一般公募推薦入試

## ■各専門共通試験科目

①副科ピアノ：任意の《ソナチネ》または《ソナタ》の第1楽章あるいは終楽章、または同程度の楽曲（ピアノ専門以外） 【注意】繰り返しは省略。楽譜を見てもよい（譜めくりは志願者自身で行うこと）。

②音楽理論：楽典(50分)

③ソルフェージュ：下記 a と b を受験すること。

a) 初見視唱

b) 聴音

ピアノ・オルガン・チェンバロ専門：8小節程度の単旋律聴音・2声聴音・和声聴音の合計3題

鍵盤楽器以外の各専門：8小節程度の旋律聴音1題

(66～67ページの例題参照)

④面接

## ■専門実技試験課題 注意事項

(1) 管楽器・打楽器の試験課題は、指定されているもの以外は楽譜を見てもよい。伴奏なし。

なお楽譜を見る場合には、志願者自身が準備し、譜めくりが必要な場合には、志願者自身で行うこと。

(2) 実技試験時に実技曲目記入票に挙げた曲の中から、指定した曲のみを演奏させることや、曲の一部をカットすることがある。

(3) 適性を判断するために、口頭により2～3の諮問を行うことがある。

(4) 実技曲目記入票に記入した試験曲の楽譜を1部ずつ準備すること。楽譜は原本またはコピーのどちらでもよい。

※実技試験当日、持参すること。出願書類等と一緒に提出してはならない。

※声楽専門の志願者は、本学で手配する伴奏者用の伴奏譜とは別に準備すること。伴奏者用の楽譜は、出願書類に添えて提出すること。伴奏譜の作り方は12ページ参照。

ピアノ	<p>(1) J.S.Bach 《平均律クラヴィーア曲集》 第1巻または第2巻より任意の〈プレリュードとフーガ〉1曲</p> <p>(2) F.Chopin 《練習曲》 Op.10、Op.25 より任意の1曲</p> <p>(3) J.Haydn、W.A.Mozart、L.van Beethoven、F.Schubert の《ソナタ》より1つまたは複数の楽章</p> <p>(4) 自由曲</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。原則として、繰り返しは省略すること。                      (1) (2) (3) (4) の合計時間が、25分～30分になるよう選曲すること。                      また(4)自由曲は、1曲でも、あるいは複数の楽曲を組み合わせてもよい。またソナタや組曲の場合は、1つの楽章でも複数の楽章でもよい。</p>
オルガン	<p>J.S.Bach の作品のうち、次の(1) (2) (3) から各1曲ずつ選択し演奏すること。</p> <p>(1) BWV.600、607、608、615、620、624</p> <p>(2) BWV.604、614、622、639、641</p> <p>(3) BWV.535、539、550</p> <p>【注意】 使用する楽器、レジストレーションについては入試センターに問い合わせること。                      入学後、練習用パイプ・オルガンを各自確保すること。</p>
チェンバロ	<p>次の(1) (2) を演奏すること。</p> <p>(1) J.S.Bach：任意の1曲</p> <p>(2) Louis Couperin：志願者各自が構成した組曲(L'Oiseau-Lyre 版使用のこと)                      ※入手が難しい場合は大学に問い合わせること。</p> <p>【注意】 入学後、練習用チェンバロを各自確保すること。</p>

ヴァイオリン	<p>(1) 時代様式の異なる協奏曲2曲 (緩徐楽章を除く、任意の楽章ひとつ。カデンツァのあるものは、カデンツァを含む。)</p> <p>(2) 自由曲(1曲)(無伴奏作品、ソナタ、小品他)</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。時代様式は、「バロック～現代」の範囲内で選ぶこと。 協奏曲課題のうち、ひとつはモーツァルトのヴァイオリン協奏曲第3番、第4番、第5番の各第1楽章から選ぶこと。 カデンツァの版指定はない。モーツァルトのみ伴奏(伴奏者は本学教員が担当)あり。演奏箇所は当日指定する。 ※志願者はモーツァルトのヴァイオリン協奏曲の伴奏譜を1部出願書類に添えて提出すること。 ※伴奏者との練習は、試験当日の指定した時間に行う。</p>
ヴィオラ	<p>(1) 時代様式の異なる協奏曲2曲 (緩徐楽章を除く、任意の楽章ひとつ。カデンツァのあるものは、カデンツァを含む。)</p> <p>(2) 自由曲(1曲)(無伴奏作品、ソナタ、小品他)</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。伴奏なし。時代様式は、「バロック～現代」の範囲内で選ぶこと。</p>
チェロ	<p>(1) 音階：任意の調の4オクターヴ(スラーは、4音一弓。テンポは自由とする)</p> <p>(2) J.S.Bach《無伴奏チェロ組曲》より任意の1曲の中からひとつ(例：第1番よりサラバンド)</p> <p>(3) 任意の協奏曲から緩徐楽章を除く、任意の楽章のひとつ(カデンツァがある場合は、カデンツァを含む)</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。伴奏なし。</p>
コントラバス	<p>(1) 任意の協奏曲から緩徐楽章を除く、任意の楽章のひとつ(カデンツァがある場合は、カデンツァを含む)</p> <p>(2) 自由曲(1曲)(無伴奏作品、ソナタ、小品他)</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。伴奏なし。</p>
ギター	<p>3つの異なる時代様式から任意の3曲を演奏すること そのうち1曲は、1900年以降に作曲された作品を含むこと</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。</p>
ハープ	<p>(1) Bochsa《Cinquante Etudes》Op.34 より任意の1曲</p> <p>(2) 自由曲(2曲)</p> <p>【注意】 自由曲2曲は、時代様式が異なる作品を選ぶこと。1曲は、ハープ奏者でない作曲家による作品を選ぶこと。 いずれも暗譜で演奏すること。</p>
ヴィオラ・ダ・ガンバ	<p>次の(1)(2)を演奏すること。</p> <p>(1) J.S.Bach：ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタ1曲</p> <p>(2) M.Marais：任意のプレリュード、アルマンド、クーラントを1曲ずつ(同一の組曲からでなくともよい)</p> <p>【注意】 伴奏者は本学で手配する。伴奏者との練習は、試験当日の指定した時間に行う。 志願者は伴奏譜を各2部ずつ出願書類に添えて提出すること。伴奏譜の作り方は12ページ参照。</p>
リュート	<p>下記の作品を含む、30分以内の演奏会プログラムを構成し、演奏すること。 ルネッサンス・リュートを演奏する場合は、次の8曲の中から少なくとも2曲は含めること。 J.Dowland (D.Poulton &amp; B.Lam 編 [The Collected Lute Music of Dowland.] Faber Music Limited) より</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1a. A Fantasia</li> <li>5. A Fancy</li> <li>6. A Fancy</li> <li>7. A Fancy</li> <li>23a. The Frog Galliard</li> <li>45. The Right Honourable The Clifton's Spirit</li> <li>47. Sir John Smith, His Almian</li> <li>58. The Shoemakaer's Wife. A Toy</li> </ol> <p>バロック・リュートを演奏する場合は、S.L.Weiss の作品を含めること。 【注意】 ルネッサンス・リュートとバロック・リュートの両方の楽器を演奏してもよい。</p>

# 一般公募推薦入試

フルート	<p>(1) 以下①②のどちらか1曲を選択し、演奏すること。                      ①W.A.Mozart 《Concerto in G major》K.313 より 第1楽章                      ②W.A.Mozart 《Concerto in D major》K.314 より 第1楽章</p> <p>【注意】 演奏箇所は、当日指定する。カデンツァは含まない。ピアノ伴奏は、本学教員が担当する。                      ※伴奏者との練習は、試験当日の指定した時間に行う。</p> <p>(2) 以下の①～⑥から1曲を選択し、演奏すること。                      ①Bozza 《Image》                      ②Debussy 《Syrinx》                      ③Ferroud 《3 Pièces》よりNo.3 Toan-Yan                      ④Ibert 《Pièce》                      ⑤Honneger 《Danse de la chèvre》                      ⑥Kark-Elert 《Sonata “Appassionata”》 Op.140</p> <p>【注意】 (1) (2)、いずれも楽譜を見てもよい。</p>
オーボエ	<p>(1) J.N.Hummel 《Introduction, Theme &amp; Variations》 Op.102                      最初から、Var.2まで演奏すること。</p> <p>(2) Hindemith 《ソナタ》 第1楽章</p> <p>(3) 任意の協奏曲 第1楽章あるいは終楽章</p> <p>【注意】 (1) (2) (3)の順で、演奏すること。いずれも楽譜を見てもよい。伴奏なし。</p>
クラリネット	<p>(1) Alfred Uhl 《48 Etüden für Klarinette》より                      No.1、No.3、No.6の3曲を演奏すること。</p> <p>(2) Weber 《Concertino》 Op.26 全曲</p> <p>【注意】 (1) (2)、いずれも楽譜を見てもよい。伴奏なし。</p>
ファゴット	<p>(1) K.Stamitz 《協奏曲 へ長調》より第1楽章(カデンツァを含む)</p> <p>(2) 自由曲(2曲)(無伴奏作品、ソナタ、小品他)</p> <p>【注意】 いずれも暗譜での演奏が望ましい。伴奏なし。</p>
サクソフォン	<p>(1) A.K.Glazunov 《Concerto in E flat major for Alto Saxophone and String Orchestra》練習番号16の手前まで。</p> <p>(2) 自由曲(1曲)</p> <p>【注意】 楽譜を見てもよい。伴奏なし。</p>
ホルン	<p>(1) 任意の協奏曲の第1楽章</p> <p>(2) 上記の協奏曲と時代様式の異なる自由曲(1曲)</p> <p>【注意】 楽譜を見てもよい。伴奏なし。カデンツァはなし。</p>
トランペット	<p>(1) 任意の協奏曲またはソナタの第1楽章</p> <p>(2) 自由曲(1曲)                      ※エチュードではあるが、シャルリエ-Théo Charlier 《Trente-six études Transcendantes》に限り、その中から1曲を選んで自由曲としてもよい。</p> <p>【注意】 楽譜を見てもよい。伴奏なし。カデンツァの有無は問わない。</p>
トロンボーン	<p>(1) C.Kopprasch 《60 Etude for Trombone》(版指定無)                      No.16、No.17、No.19、No.22、No.23、No.24、No.28、No.30、No.31、No.33 より、任意の2曲</p> <p>(2) 自由曲(1曲)</p> <p>【注意】 (1) (2)、いずれも楽譜を見てもよい。伴奏なし。</p>
チューバ	<p>(1) C.Kopprasch 《60 Selected Studies for Tuba》(Robert King 版)より No.17、No.19、No.21</p> <p>(2) M.Bordoni 《43 Bel Canto Studies for Tuba》(Robert King 版)より No.13</p> <p>【注意】 (1) (2)、いずれも楽譜を見てもよい。伴奏なし。</p>



ユーフォニアム	<p>(1) C.Kopprasch 《60 Selected Studies for Trombone》(C.Fischer 版) Book. I より No.8、No.13、No.14(当日指定)</p> <p>(2) A.Capuzzi 《Andante and Ronde (from Concerto for Double Bass)》(Hinrichsen 版 No.1474) ※「Rondo」は、記号Gの前まで演奏すること。</p> <p>【注意】 楽譜を見てもよい。伴奏なし。</p>
リコーダー	<p>次の(1)(2)を演奏すること。</p> <p>(1) A.Vivaldi：任意の協奏曲全楽章</p> <p>(2) G.Ph.Teleman：任意の協奏曲全楽章</p> <p>【注意】 伴奏者は本学で手配する。伴奏者との練習は、試験当日の指定した時間に行う。 必ず415Hzのリコーダーを使用すること(440Hzは不可)。</p>
打楽器	<p>(1) または(2)を選択し、演奏すること。小太鼓で受験する場合、楽器は、志願者自身で用意すること。</p> <p>(1) マリンバ 課題曲 Paul Creston 《Concertino for Marimba》 クレストン《マリンバ小協奏曲》より 第1楽章 ※暗譜で演奏すること。伴奏なし。</p> <p>自由曲 任意の1曲(10分以内) ※暗譜で演奏すること。伴奏なし。</p> <p>小太鼓 課題曲 Jacques Delécluse 《Douze Etudes pour Caisse-Claire》 ドレクリューズ《小太鼓のための12の練習曲》より第1番 ※楽譜を見てもよい。</p> <p>(2) マリンバ 課題曲 J.S.Bach 《Drei Sonaten und Drei Partiten für Violino Solo》 バッハ《無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第1番》BWV.1001より(Presto) ※楽譜を見てもよい。</p> <p>小太鼓 課題曲 Anthony J.Cirone 《Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare Drum》 シローン《ポートレート・イン・リズム》より任意の1曲 ※楽譜を見てもよい。</p> <p>Jacques Delécluse 《Douze Etudes pour Caisse-Claire》 ドレクリューズ《小太鼓のための12の練習曲》より当日3曲指定 ※楽譜を見てもよい。</p>
声乐	<p>次の(1)、(2)を暗譜で演奏すること。歌詞は原語に限る。</p> <p>(1) 任意の外国歌曲4曲、日本歌曲3曲を選び、専門実技曲目記入票に記入して提出すること。その中から外国歌曲2曲、日本歌曲1曲、計3曲が当日指定される。</p> <p>(2) (1)で選択したもの以外の任意の曲1曲(オペラアリア可)。</p> <p>【注意】 伴奏者は本学で手配する。伴奏者との練習は、試験当日の指定した時間に行う。 志願者は、実技曲目記入票に記入した8曲の伴奏譜を、各2部ずつ出願書類に添えて提出すること。 伴奏譜の作り方は12ページ参照。</p>

## 器楽コース・声楽コース 試験科目

### ■各専門共通試験科目

- ①副科ピアノ：任意の《ソナチネ》または《ソナタ》の第1楽章あるいは終楽章、または同程度の楽曲（ピアノ専門以外） 【注意】①楽譜を見てもよい（譜めくりは志願者自身で行うこと）。  
②ピアノ専門およびギター専門の志願者、ヴィオラ・ダ・ガンバ専門またはリュート専門をギターで受験する志願者は免除される。
- ②音楽理論：楽典(50分)
- ③ソルフェージュ：下記①か②のどちらかを選択すること。  
①聴音：8小節程度の旋律聴音  
②視唱：視唱課題曲6曲（本要項68～73ページ）から、当日試験会場で1曲を指定する。  
唱法は、固定ド唱法が好ましいが、移動ド唱法でもよい。  
課題楽譜には、練習のためのハーモニーが記入されているが、試験ではピアノによる主和音が与えられた後、無伴奏で歌うこと。
- ④面接

### ■専門実技試験課題

- (1)管楽器・打楽器の試験課題は、指定されているもの以外は楽譜を見てもよい。伴奏なし。  
なお楽譜を見る場合、志願者自身で楽譜を準備し、譜めくりについても志願者自身で行うこと。
- (2)入試方式(選抜入試(日程A)、選抜入試(日程B))によって試験課題が異なる場合があるので注意すること。

ピアノ	<p>〔選抜入試(日程A)〕</p> <p>(1)下記の練習曲より任意の1曲 C.Czerny《50番練習曲 Die Kunst der Fingerfertigkeit》Op.740 Cramer=Büllow《60の練習曲 60 Ausgewählte Etüden》 M.Clementi《練習曲 Gradus ad Parnassum》(C.Tausig 編) M.Moszkowski《15の練習曲 15 Etudes de Virtuosite》 F.Chopin《練習曲》Op.10、Op.25</p> <p>(2)J.S.Bach《平均律クラヴィーア曲集 Das Wohltemperierte Klavier》第1巻・第2巻より任意のフーガ1曲</p> <p>(3)W.A.Mozart あるいは L.van Beethoven の任意の《ソナタ》の第1楽章または終楽章 ただし、L.van Beethoven の《ソナタ》Op.27 No.1第1楽章、Op.27 No.2第1楽章、 Op.49 No.1、Op.49 No.2、Op.79、Op.101、Op.106、Op.109、Op.110、Op.111を除く。</p> <p>【注意】(1)(2)(3)とも暗譜で演奏すること。繰り返しは省略すること。</p> <p>〔選抜入試(日程B)〕</p> <p>自由曲(任意の曲、練習曲を含めてよい)</p> <p>【注意】1曲あるいは、それ以上の曲数で7分程度以上を演奏すること。暗譜で演奏すること。</p>
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

オルガン	<p>〔選抜入試(日程A)・選抜入試(日程B)〕</p> <p>ピアノで受験することもできる。 その場合、実技曲目記入票の「受験楽器」欄に楽器名を明記すること。</p> <p>(1)オルガンで受験する場合 J.S.Bachのオルガン作品より任意の1曲。 ただし、コラール作品(BWV599-BWV771)は除く。</p> <p>(2)ピアノで受験する場合 J.S.Bach《平均律クラヴィーア曲集第1巻》より下記のうち3曲。 BWV847、BWV851、BWV854、BWV856、BWV861、BWV866 ※演奏する曲は、当日試験会場で指定する。</p> <p>【注意】 入学後、練習用パイプ・オルガンを各自確保すること。</p>
チェンバロ	<p>〔選抜入試(日程A)・選抜入試(日程B)〕</p> <p>ピアノで受験することもできる。 その場合、実技曲目記入票の「受験楽器」欄に楽器名を明記すること。</p> <p>J.S.Bach《平均律クラヴィーア曲集第1巻》より下記のうち3曲。 BWV847、BWV851、BWV854、BWV856、BWV861、BWV866 ※演奏する曲は、試験当日会場で指定する。</p> <p>【注意】 入学後、練習用チェンバロを各自確保すること。</p>
ヴァイオリン	<p>〔選抜入試(日程A)〕</p> <p>(1)以下の教本から任意の調の3オクターヴ音階とアルペッジョ(スラーは自由) 小野アンナ《ヴァイオリン音階教則本》 フリマリー《ヴァイオリン音階教則本》 C.フレッシュ《スケールシステム》</p> <p>(2)以下の練習曲集から任意の1曲 Kreutzer《42 Etudes》 Rode《24 Caprices》 Dont《24 Etudes and Caprices》Op.35 Paganini《24 Caprices》</p> <p>(3)以下の任意の協奏曲から緩徐楽章を除く任意の楽章のひとつ(カデンツァがあるものは、カデンツァを含む)、または同程度の協奏曲の緩徐楽章を除く任意の楽章のひとつ(バロック時代の協奏曲でも可) W.A.Mozart《Concerto》G-dur K.216、D-dur K.218、A-dur K.219(いずれもカデンツァの版は自由) F.Mendelssohn《Concerto》e-moll Op.64 M.Bruch《Concerto》g-moll Op.26 E.Lalo《Symphonie Espagnole》d-moll Op.21</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。</p> <p>〔選抜入試(日程B)〕</p> <p>(1)任意の無伴奏ヴァイオリンのための作品1曲(練習曲を含む)</p> <p>(2)任意の協奏曲から緩徐楽章を除く任意の楽章のひとつ(カデンツァがあるものは、カデンツァを含む)、または同程度の協奏曲の緩徐楽章を除く任意の楽章のひとつ</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。</p>

<p>ヴァイオリン</p>	<p>ヴァイオリンで受験してもよい。その場合、ヴァイオリン課題で受験すること。 なおヴァイオリンで受験する場合、実技曲目記入票の「受験楽器」欄に演奏する楽器名を記入すること。</p> <p><b>〔選抜入試(日程A)〕</b></p> <p>(1) C.フレッシュ《スケールシステム》(ヴィオラ用編曲版)より、任意の調の第5番、第12小節の複縦線まで (2) 以下の曲集から任意の1曲を演奏すること。 Hoffmeister《Etudes》 Campagnoli《41 Caprices》Op.22</p> <p><b>【注意】</b> 繰り返しは省略すること。</p> <p>(3) 以下のいずれか1曲を選択、または同程度の協奏曲あるいはソナタの1つ、又は2つの楽章 C.Stamitz《Concerto》D-dur Op.1より 第1楽章(カデンツァを含む) J.Christian Bach《Concerto》C-moll より 第2楽章と第3楽章(カデンツァを含む) G.Ph.Telemann《Concerto》G-dur より 第1楽章と第2楽章 A.Hoffmeister《Concerto》D-dur より 第1楽章(カデンツァを含む)</p> <p><b>【注意】</b> いずれも暗譜で演奏すること。</p> <p><b>〔選抜入試(日程B)〕</b></p> <p>(1) 任意の練習曲1曲 (2) 練習曲以外の任意の1曲 <b>【注意】</b> いずれも暗譜で演奏すること。</p>
<p>チェロ</p>	<p><b>〔選抜入試(日程A)〕</b></p> <p>(1) 音階：下記の教本から任意の調の3オクターヴの音階(スラーは、2音一弓または4音一弓。テンポの指定なし) J.Loeb《Gammes et arpeges》(Billaudo 版)</p> <p>(2) 練習曲：下記の練習曲集から任意の1曲 Dotzauer《113 Studies》 Duport《21の練習曲》</p> <p>(3) 以下のいずれか1曲、または同程度の協奏曲あるいは古典派のソナタの第1楽章 L.Boccherini《Concerto》B-dur より第1楽章(カデンツァを含む) C.Saint-Saëns《Concerto》a-moll Op.33 より第1楽章 E.Lalo《Concerto》d-moll より第1楽章 J.Haydn《Concerto》C-dur より第1楽章(カデンツァを含む) G.Goltermann または B.Romberg の任意の《Concerto》から第1楽章</p> <p><b>【注意】</b> いずれも暗譜で演奏すること。伴奏なし。</p> <p><b>〔選抜入試(日程B)〕</b></p> <p>(1) 音階：下記の教本から任意の調の3オクターヴの音階 J.Loeb《Gammes et arpeges》(Billaudo 版)</p> <p>(2) 自由曲(1曲)(練習曲以外) <b>【注意】</b> いずれも暗譜で演奏すること。</p>

<p>コントラバス</p>	<p>チェロで受験してもよい。その場合、チェロ課題で受験すること。 なおチェロで受験する場合、実技曲目記入票の「受験楽器」欄に楽器名を明記すること。</p> <p><b>〔選抜入試(日程A)〕</b></p> <p>(1) F-dur と d-moll の音階(1オクターヴ上行と下行)を次の奏法で弾くこと  ①1音1弓(1音は4分音符とする)で弾く。ただし、M.M. ♪ = ca.60  ②4音1弓(1音は8分音符とする)で弾く。ただし、M.M. ♪ = ca.60</p> <p>(2) 練習曲：下記のエチュードより任意の1曲  F.Simandl 《30 Etudes》</p> <p>(3) 自由曲(1曲)(練習曲を含む)</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。</p> <p><b>〔選抜入試(日程B)〕</b></p> <p>(1) F-dur と d-moll の音階(1オクターヴ上行と下行)を次の奏法で弾くこと  ①1音1弓(1音は4分音符とする)で弾く。ただし、M.M. ♪ = ca.60  ②4音1弓(1音は8分音符とする)で弾く。ただし、M.M. ♪ = ca.60</p> <p>(2) 自由曲(1曲)(練習曲を含む)</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。</p>
<p>ギター</p>	<p><b>〔選抜入試(日程A)・選抜入試(日程B)〕</b></p> <p>古典派作曲家から“ソナタ形式”のものを1曲演奏すること</p> <p>【注意】 暗譜で演奏すること。</p>
<p>ハープ</p>	<p><b>〔選抜入試(日程A)〕</b></p> <p>(1) 変ホ長調のスケール、アルペッジョ、和音  (2) Bochsá 《Quarante études faciles》 Op.318 より任意の2曲  (3) 自由曲(1曲)</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。</p> <p><b>〔選抜入試(日程B)〕</b></p> <p>(1) 変ホ長調のスケール、アルペッジョ、和音  (2) 自由曲(1曲)(練習曲以外)</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。</p>

<p>ヴィオラ・ダ・ガンバ</p>	<p><b>〔選抜入試(日程A)・選抜入試(日程B)〕</b></p> <p>ヴァイオリン、チェロ、ギター、コントラバスで受験することもできる。 その場合、実技曲目記入票の「受験楽器」欄に楽器名を明記すること。</p> <p>(1) ヴィオラ・ダ・ガンバで受験する場合                  ① D.Ortiz 《Tratado de glosa》(Bärenreiter 684) より《Recercada Segunda》(Op.53)                  ② K.F.Abel 《Sechs Sonaten》(Bärenreiter H.M.39、40) より任意の1曲  <b>【注意】</b> ②は、伴奏なし。</p> <p>(2) ヴァイオリンで受験する場合                  ① 任意の練習曲1曲                  ② バロック期ヴァイオリン・ソナタの第1楽章および第2楽章  <b>【注意】</b> ①②ともに、伴奏なし。</p> <p>(3) チェロで受験する場合                  ① 任意の練習曲1曲                  ② バロック期チェロ・ソナタの第1楽章および第2楽章  <b>【注意】</b> ①②ともに、伴奏なし。</p> <p>(4) ギターで受験する場合                  ① F.Sor 《Etudes》(Op.35) より No.24 e-moll                  ② P.Attaignant 《Basse-danse “Patience”》  <b>【注意】</b> ②の楽譜が必要な者は、返信用封筒(定形サイズの封筒に92円切手を貼付けること)同封のうえ、入試センター宛てに請求すること。</p> <p>(5) コントラバスで受験する場合                  ① F-dur と d-moll の音階(1オクターヴ上行下行)を1音1弓(1音は4分音符とする)で弾くこと                  ② 自由曲(1曲)(練習曲を含む)  <b>【注意】</b> ①音階のテンポは、M.M. ♩ = ca 60 とする。②は、伴奏なし。</p>
<p>リュート</p>	<p><b>〔選抜入試(日程A)・選抜入試(日程B)〕</b></p> <p>ギターで受験することもできる。 その場合、実技曲目記入票の「受験楽器」欄に楽器名を明記すること。</p> <p>(1) リュートで受験する場合                  自由曲(2曲)  <b>【注意】</b> ルネッサンス期またはバロック期の作品に限る。</p> <p>(2) ギターで受験する場合                  自由曲(2曲)  <b>【注意】</b> 2曲のうち1曲は、ルネッサンス期またはバロック期の作品を演奏すること。</p>

フルート	<p>〔選抜入試(日程A)〕</p> <p>(1) 音階：1組の長調と関係短調を当日指定する。 長調はレガート、短調はタンギングで、暗譜で演奏すること。</p> <p>[参考譜例]</p> <p>C-dur</p>  <p>a-moll</p>  <p>(2) 下記の練習曲集より 任意の1曲 Andersen 《24 Studies》Op.21 Fürstenau 《Bouquet des Tons》Op.125 Koehler 《35 Exercises》Op.33 I 巻およびII 巻</p> <p>【注意】 練習曲集より任意の1曲については、楽譜を見てもよい。</p> <p>〔選抜入試(日程B)〕</p> <p>〔日程A〕と同課題とする。ただし、(2)については、任意の1曲でもよい。</p>
オーボエ	<p>〔選抜入試(日程A)・選抜入試(日程B)〕</p> <p>(1) 音階：全調の中より当日指定する。</p> <p>[参考譜例]</p> <p>M.M. ♩ = 60~96</p>  <p>(2) 自由曲(1曲)(練習曲以外)</p> <p>【注意】 協奏曲の場合は、第1楽章あるいは終楽章を演奏すること。いずれも暗譜の必要はない。伴奏なし。</p>
クラリネット	<p>〔選抜入試(日程A)・選抜入試(日程B)〕</p> <p>(1) 音階：以下の音階を演奏すること。楽譜を見てもよい。</p> <p>Fis-dur</p>   <p>(2) C.ローズ《32のエチュード》全曲より任意の2曲。ただし、奇数番号と偶数番号の曲を各1曲ずつ、計2曲を演奏すること。</p> <p>【注意】 いずれも楽譜を見てもよい。</p>

〔選抜入試(日程A)〕

- (1) 音階：#、b4つ以内の長調・短調より、当日指定する。  
それぞれ、レガート・スタッカートの2パターンで演奏すること。

[参考譜例]



ファゴット



- (2) J.Weissenborn 《Studies for Bassoon》Op.8第2巻、第1番～第14番までの中から任意の1曲と、第15番を演奏すること。

〔注意〕 いずれも楽譜を見てもよい。

〔選抜入試(日程B)〕

〔日程A〕と同課題とする。ただし、(2)については、任意の1曲でもよい。伴奏なし。

〔選抜入試(日程A)〕

- (1) 音階：長短全音階の中より当日指定する。短音階は、和声的音階で演奏すること。  
①スラーで演奏し、途中でプレスを取らなくてもよいテンポで演奏すること。暗譜で演奏すること。  
②半音階。暗譜で演奏すること。  
開始音は試験場にて指定する。全音域を16分音符でスラーをかけて演奏すること。  
テンポは、♩=120以上とする。

[参考譜例]

C-dur



a-moll



サクソフォン

- (2) 以下(A)(B)のどちらかを選択して演奏すること。  
(A) M.Mule 《48 Etudes d'après Ferling》より任意の奇数番号と偶数番号の曲を各1曲ずつ、計2曲を演奏すること。  
〔注意〕 楽譜を見てもよい。  
(B) A.Glazounov 《Concerto in E flat major for Alto Saxophone and String Orchestra》練習番号16の手前まで。  
〔注意〕 楽譜を見てもよい。伴奏なし。

〔選抜入試(日程B)〕

〔日程A〕と同課題とする。ただし、(2)については、任意の1曲でもよい。

〔注意〕 任意の1曲の場合、楽譜を見てもよい。伴奏なし。



ホルン	<p>〔選抜入試(日程A)〕</p> <p>(1) 音階：変口長調とハ長調(いずれも実音)の2オクターヴ音階より当日指定する。 次の形式で演奏すること。</p> <p>[参考譜例]</p>  <p>(2) ①C.Kopprasch 《ホルンのための60の練習曲》 ②M.Alphonse 《200の新練習曲》第1巻または第2巻</p> <p>【注意】 ①②の中から、それぞれ任意の1曲、計2曲を演奏すること。いずれも楽譜を見てもよい。</p> <p>〔選抜入試(日程B)〕</p> <p>〔日程A〕と同課題とする。ただし、(2)については、任意の1曲でもよい。伴奏なし。</p>
トランペット	<p>〔選抜入試(日程A)・選抜入試(日程B)〕</p> <p>(1) Charles Colin 《Lip Flexibilities》 vol.1より、3番 (Etude No.1)</p> <p>(2) 音階：ト長調、イ長調、変口長調、ト短調、イ短調より、当日指定する。(in B) 次の形式で演奏すること。テンポは、♩=80 位で演奏すること。</p> <p>[参考譜例]</p> <p>ト長調 (in B)</p>  <p>ト短調 (in B)</p>  <p>(3) 課題曲：次の①～④の中から任意の1曲を演奏すること。</p> <p>①A.Corelli 《Sonata VIII》(Transcribed by Bernard Fitzgerald)より〈Prelude〉〈Allemande〉 ※繰り返しなし</p> <p>②G.F.Händel 《Aria con Variazioni》(Transcribed by Bernard Fitzgerald)より〈Theme〉〈Var.I〉〈Var.II〉 ※〈Theme〉の最初の繰り返しのみ、繰り返しあり</p> <p>③J.B.Arban 《12の幻想曲とアリア》第3番〈Fantaisie Brillante〉より〈Theme〉〈Var.I〉</p> <p>④J.B.Arban 《12の幻想曲とアリア》第5番〈The Beautiful Snow〉より〈Theme〉〈Var.I〉〈Var.II〉 ※繰り返しなし</p> <p>【注意】 いずれも楽譜を見てもよい。</p>

<p>トロンボーン</p>	<p>バストロンボーンで受験することも可能  <b>〔選抜入試(日程A)〕</b>                  (1) 音階：2オクターヴ音階、全調の中から当日指定する。                  [参考譜例]                    (2) Joannes Rochut 編《Melodious Etudes for Trombone》Book I (Carl Fisher 版) 1番～10番より任意の2曲を演奏すること。  <b>【注意】</b> いずれも楽譜を見てもよい。  <b>〔選抜入試(日程B)〕</b>                  [日程A]と同課題とする。ただし、(2)については、任意の1曲でもよい。伴奏なし。</p>
<p>テューバ</p>	<p><b>〔選抜入試(日程A)〕</b>                  (1) 音階：2オクターヴ音階、全調の中から当日指定する。                  (2) C.Kopprasch 《60 Selected Etudes for Tuba》 No.10、No.14、No.15、No.17、No.19、No.21 より、当日2曲指定する。  <b>【注意】</b> いずれも楽譜を見てもよい。伴奏なし。  <b>〔選抜入試(日程B)〕</b>                  [日程A]と同課題とする。ただし、(2)については、任意の1曲でもよい。伴奏なし。</p>
<p>ユーフォニアム</p>	<p><b>〔選抜入試(日程A)〕</b>                  (1) 音階：シャープ、フラットそれぞれ3つまでの長、短音階の中から当日指定する。下記の譜例のように演奏すること。                    (2) Joannes Rochut 編《Melodious Etudes for Trombone》Book I (Carl Fisher 版) 1番～15番より任意の2曲を演奏すること。  <b>【注意】</b> いずれも楽譜を見てもよい。  <b>〔選抜入試(日程B)〕</b>                  [日程A]と同課題とする。ただし、(2)については、任意の1曲でもよい。伴奏なし。</p>

リコーダー	<p><b>〔選抜入試(日程A)・選抜入試(日程B)〕</b></p> <p>(1) J.van Eyck《Der Fluyten Lust-hof》より、任意の1曲 ※楽器は、ソプラノリコーダーを使用すること、ピッチは自由</p> <p>(2) G.Ph.Telemann《12 Fantasias for Flute without Bass》より、以下の任意の1曲 ※原調より短3度上げた、以下に指定する調で演奏すること。 TWV40 : 2 ハ長調 TWV40 : 4 ニ短調 TWV40 : 8 ヘ長調 TWV40 : 9 ト短調 TWV40 : 10 ト長調 TWV40 : 11 イ短調 TWV40 : 12 変口長調</p> <p>(3) G.F.Händel《Sonate F-dur für Blockflöte und B.C.》Op.1、No.11、HWV369 ※全楽章、演奏すること。通奏低音付き。</p> <p><b>〔注意〕</b> (2)、(3)は、必ず415Hzのトレブルリコーダーを使用すること(440Hzは不可)。 (1)、(3)は、試験当日省略を指示することもある。 (3)の伴奏者(チェンバロ)は本学で手配する。試験開始前に20分程度の伴奏者との練習時間を設定する。 伴奏譜(製本したもの)を提出すること。伴奏譜の作り方は12ページ参照。</p>
打楽器	<p>小太鼓またはマリンバ、どちらで受験するかを実技曲目記入票の「受験楽器」欄に明記すること。 小太鼓で受験する場合、使用する楽器は志願者自身で用意すること。</p> <p><b>〔選抜入試(日程A)〕</b></p> <p>(イ) 小太鼓で受験する場合 ①基礎打ち：1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち ②Anthony J.Cirone《Portraits in Rhythm》より、(5、13、15、25、26、27、28、29、30、43、50から1曲選択し、演奏すること。楽譜を見てもよい。 ③自由曲：②に準ずる任意のエチュードから1曲</p> <p>(ロ) マリンバで受験する場合 ①音階：3オクターヴの音階、全調の中から当日指定する。任意の音型で演奏すること。 ②Morris Goldenberg《Morden School for Xylophone, Marimba, Vibraphone 39 Etudes》より、V、VII、IX、XIII、XIV、XV、XVIII、XXI、XXVIII、XXXII(5、7、9、13、14、15、18、21、28、32)から1曲選択し、暗譜で演奏すること。 ③10分以内の任意の自由曲</p> <p><b>〔選抜入試(日程B)〕</b> 〔日程A〕と同課題とする。</p>
声楽	<p><b>〔選抜入試(日程A)・選抜入試(日程B)〕</b></p> <p>次の(1)、(2)を暗譜で演奏すること。歌詞は原語に限る。</p> <p>(1) 任意の外国曲(歌曲またはオペラアリア)2曲、日本歌曲2曲を選び、専門実技曲目記入票に記入して提出すること。その中からそれぞれ1曲、計2曲が当日指定される。</p> <p>(2) (1)で選択したものの以外の任意の曲1曲(コンコーネ等の練習曲は含まない)</p> <p><b>〔注意〕</b> 伴奏者は本学で手配する。伴奏者との練習は、試験当日の指定した時間に行う。 志願者は、実技曲目記入票に記入した5曲の伴奏譜を、各2部ずつ出願書類に添えて提出すること。 伴奏譜の作り方は12ページ参照。</p>

## グローバル教養コース 試験科目

### ■音楽学専門

〔選抜入試(日程A・日程B)〕

I. (1)か(2)を選択※1※2

(1)音楽学小論文(60分)と副科ピアノ(副科器楽)※3

(2)音楽学小論文(60分)と音楽学英語\*(60分)……楽器や音楽理論を学習していなくても受験できます。

\*音楽学英語：音楽に関係のある英文を出題します。英文は、高等学校第3学年修了程度の水準。

II. コース面接

III. 面接

※1 短期大学部との併願を希望する場合は、(1)を選択すること。

※2 特待生選考を希望する場合は、(2)を選択すること。

※3「音楽学専門」では、受験した楽器が入学後の主たる副科となります。

### ■音楽教育専門

〔選抜入試(日程A・日程B)〕

I. 音楽理論[楽典](50分)

II. 音楽教育小論文：音楽または音楽教育に関係ある題を出題します。ただし、音楽に関わる専門的な知識を必要としません(60分)

III. 副科ピアノ(副科器楽)※

IV. ソルフェージュ:下記①か②のどちらかを選択すること。

①聴音:8小節程度の旋律聴音。

②視唱:視唱課題曲6曲(本要項68~73ページ)から当日試験会場で1曲を指定する。唱法は固定ド唱法が望ましいが、移動ド唱法でもよい。課題楽譜には、練習のためのハーモニーが記入されているが、試験ではピアノによる主和音が与えられた後、無伴奏で歌うこと。

V. コース面接

VI. 面接

※「音楽教育専門」では、受験した楽器にかかわらず入学後の主たる副科はピアノとなります。

### ■文化創造マネジメント専門…※楽器や音楽理論を学習していなくても受験できます。

〔選抜入試(日程A・日程B)〕

I. (1)か(2)を選択

(1)小論文(60分)と英語\*(60分)

\*英語:高等学校第3学年修了程度の英文を出題します。

(2)個性表現\*\*(個性表現の所要時間は5分以内、その後質疑応答)と英語(60分)

\*\*個性表現については次頁にて説明します。

II. コース面接

III. 面接

## 個性表現について※文化創造マネジメント専門の同科目選択者は下記を参照してください。

個性表現とは、自分自身が最も得意とする表現(身体表現、楽器演奏、過去の顕彰、活動実績など)のプレゼンテーションを言います。所要時間5分以内で実施してください。

### 《具体例》

楽器演奏、ダンスの披露等のパフォーマンス、映像作品の紹介、ボランティア活動の報告、特技に関わる証明書(各種検定資格等)を携えての自己PR、等。

### 《本学で用意できる機器類》

オーディオ機器、パソコン、プロジェクター、書画カメラ、スクリーン、大型楽器

※上記機器類の使用を希望される方、また、自身で手配される方はその旨、事前にご連絡ください(連絡先：上野学園大学入試センター 03-3842-1024)。

## 副科器楽について(文化創造マネジメント専門を除く)

※実技曲目記入票の副科ピアノ／副科器楽曲目記入欄に、演奏する楽器と演奏曲目を記入すること。

※特に指示のない限り、楽譜を見てもよい(譜めくりは志願者自身で行うこと)。

### 《受験できる楽器》

ピアノ、オルガン、チェンバロ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ギター、ハープ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、リュート、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム、リコーダー、打楽器(小太鼓またはマリンバ)

## 副科器楽課題(文化創造マネジメント専門を除く)

ピアノ	任意の《ソナチネ》または《ソナタ》の第1楽章あるいは終楽章、または同程度の楽曲 【注意】 繰り返しは省略すること。
オルガン	J.S.Bach のオルガン作品より任意の1曲。ただし、コラル作品(BWV599-771)は除く。
チェンバロ	J.S.Bach 《シンフォニア(3声のインヴェンション) Sinfonien》より任意の1曲
弦楽器	自由曲(1曲)
ヴィオラ・ダ・ガンバ	D.Ortiz 《Tratado de glosa》(Bärenreiter 684) より《Recercada Segunda》(Op.53)
リュート	P.Attignant 《Basse-danse Patience》 (楽譜が必要な志願者は、返信用の角2封筒に140円切手を貼付のうえ、入学願書等に同封し、入試センター宛てに請求すること。)
管楽器	自由曲(1曲)
リコーダー	H.M.Linde 《Neuzeitlicheubungsstücke für die Altblockflöte》(Schott 4797) より第11番、第12番
打楽器	自由曲(1曲)

## ■各専門共通試験科目

①副科ピアノ：任意の《ソナチネ》または《ソナタ》の第1楽章あるいは終楽章、または同程度の楽曲（ピアノ専門以外）【注意】繰り返しは省略。楽譜を見てもよい（譜めくりは志願者自身で行うこと）。

②音楽理論：楽典(50分)

③ソルフェージュ：下記 a と b を受験すること。

a) 初見視唱

b) 聴音

ピアノ・オルガン・チェンバロ専門:8小節程度の単旋律聴音・2声聴音・和声聴音の合計3題

鍵盤楽器以外の各専門:8小節程度の旋律聴音1題

(66～67ページの例題参照)

④面接

## ■専門実技試験課題 注意事項

(1)管楽器・打楽器の試験課題は、指定されているもの以外は楽譜を見てもよい。伴奏なし。

なお楽譜を見る場合には、志願者自身が準備し、譜めくりが必要な場合には、志願者自身で行うこと。

(2)実技試験時に実技曲目記入票に挙げた曲の中から、指定した曲のみを演奏させることや、曲の一部をカットすることがある。

(3)適性を判断するために、口頭により2～3の諮問を行うことがある。

(4)実技曲目記入票に記入した試験曲の楽譜を1部ずつ準備すること。楽譜は原本またはコピーのどちらでもよい。

※実技試験当日、持参すること。出願書類等と一緒に提出してはならない。

※声楽専門の志願者は、本学で手配する伴奏者用の伴奏譜とは別に準備すること。伴奏者用の楽譜は、出願書類に添えて提出すること。伴奏譜の作り方は12ページ参照。

ピアノ	<p>(1) J.S.Bach 《平均律クラヴィーア曲集》 第1巻または第2巻より任意の〈プレリュードとフーガ〉1曲</p> <p>(2) F.Chopin 《練習曲》 Op.10、Op.25 より任意の1曲</p> <p>(3) J.Haydn、W.A.Mozart、L.van Beethoven、F.Schubert の《ソナタ》より1つまたは複数の楽章</p> <p>(4) 自由曲</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。原則として、繰り返しは省略すること。                      (1) (2) (3) (4) の合計時間が、25分～30分になるよう選曲すること。                      また (4) 自由曲は、1曲でも、あるいは複数の楽曲を組み合わせてもよい。またソナタや組曲の場合は、1つの楽章でも複数の楽章でもよい。</p>
オルガン	<p>J.S.Bach の作品のうち、次の (1) (2) (3) から各1曲ずつ選択し演奏すること。</p> <p>(1) BWV.600、607、608、615、620、624</p> <p>(2) BWV.604、614、622、639、641</p> <p>(3) BWV.535、539、550</p> <p>【注意】 使用する楽器、レジストレーションについては入試センターに問い合わせること。                      入学後、練習用パイプ・オルガンを各自確保すること。</p>
チェンバロ	<p>次の (1) (2) を演奏すること。</p> <p>(1) J.S.Bach： 任意の1曲</p> <p>(2) Louis Couperin： 志願者各自が構成した組曲 (L'Oiseau-Lyre 版使用のこと)                      ※入手が難しい場合は大学に問い合わせること。</p> <p>【注意】 入学後、練習用チェンバロを各自確保すること。</p>

ヴァイオリン	<p>(1) 時代様式の異なる協奏曲2曲 (緩徐楽章を除く、任意の楽章ひとつ。カデンツァのあるものは、カデンツァを含む。)</p> <p>(2) 自由曲(1曲)(無伴奏作品、ソナタ、小品他)</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。時代様式は、「バロック～現代」の範囲内で選ぶこと。 協奏曲課題のうち、ひとつはモーツァルトのヴァイオリン協奏曲第3番、第4番、第5番の各第1楽章から選ぶこと。 カデンツァの版指定はない。モーツァルトのみ伴奏(伴奏者は本学教員が担当)あり。演奏箇所は当日指定する。 ※志願者はモーツァルトのヴァイオリン協奏曲の伴奏譜を1部出願書類に添えて提出すること。 ※伴奏者との練習は、試験当日の指定した時間に行う。</p>
ヴィオラ	<p>(1) 時代様式の異なる協奏曲2曲 (緩徐楽章を除く、任意の楽章ひとつ。カデンツァのあるものは、カデンツァを含む。)</p> <p>(2) 自由曲(1曲)(無伴奏作品、ソナタ、小品他)</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。伴奏なし。時代様式は、「バロック～現代」の範囲内で選ぶこと。</p>
チェロ	<p>(1) 音階: 任意の調の4オクターヴ(スラーは、4音一弓。テンポは自由とする)</p> <p>(2) J.S.Bach《無伴奏チェロ組曲》より任意の1曲の中からひとつ(例: 第1番よりサラバンド)</p> <p>(3) 任意の協奏曲から緩徐楽章を除く、任意の楽章のひとつ(カデンツァがある場合は、カデンツァを含む)</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。伴奏なし。</p>
コントラバス	<p>(1) 任意の協奏曲から緩徐楽章を除く、任意の楽章のひとつ(カデンツァがある場合は、カデンツァを含む)</p> <p>(2) 自由曲(1曲)(無伴奏作品、ソナタ、小品他)</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。伴奏なし。</p>
ギター	<p>3つの異なる時代様式から任意の3曲を演奏すること そのうち1曲は、1900年以降に作曲された作品を含むこと</p> <p>【注意】 いずれも暗譜で演奏すること。</p>
ハープ	<p>(1) Bochsa《Cinquante Etudes》Op.34 より任意の1曲</p> <p>(2) 自由曲(2曲)</p> <p>【注意】 自由曲2曲は、時代様式が異なる作品を選ぶこと。1曲は、ハープ奏者でない作曲家による作品を選ぶこと。 いずれも暗譜で演奏すること。</p>
ヴィオラ・ダ・ガンバ	<p>次の(1)(2)を演奏すること。</p> <p>(1) J.S.Bach: ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタ1曲</p> <p>(2) M.Marais: 任意のプレリュード、アルマンド、クーラントを1曲ずつ(同一の組曲からでなくともよい)</p> <p>【注意】 伴奏者は本学で手配する。伴奏者との練習は、試験当日の指定した時間に行う。 志願者は伴奏譜を各2部ずつ出願書類に添えて提出すること。伴奏譜の作り方は12ページ参照。</p>
リュート	<p>下記の作品を含む、30分以内の演奏会プログラムを構成し、演奏すること。 ルネッサンス・リュートを演奏する場合は、次の8曲の中から少なくとも2曲は含めること。 J.Dowland (D.Poulton &amp; B.Lam 編 [The Collected Lute Music of Dowland.] Faber Music Limited) より</p> <p>1a. A Fantasia 5. A Fancy 6. A Fancy 7. A Fancy 23a. The Frog Galliard 45. The Right Honourable The Clifton's Spirit 47. Sir John Smith, His Almain 58. The Shoemakaer's Wife. A Toy</p> <p>バロック・リュートを演奏する場合は、S.L.Weiss の作品を含めること。</p> <p>【注意】 ルネッサンス・リュートとバロック・リュートの両方の楽器を演奏してもよい。</p>

フルート	<p>(1) 以下①②のどちらか1曲を選択し、演奏すること。                      ①W.A.Mozart 《Concerto in G major》K.313 より 第1楽章                      ②W.A.Mozart 《Concerto in D major》K.314 より 第1楽章</p> <p>【注意】 演奏箇所は、当日指定する。カデンツァは含まない。ピアノ伴奏は、本学教員が担当する。                      ※伴奏者との練習は、試験当日の指定した時間に行う。</p> <p>(2) 以下の①～⑥から1曲を選択し、演奏すること。                      ①Bozza 《Image》                      ②Debussy 《Syrinx》                      ③Ferroud 《3 Pièces》よりNo.3 Toan-Yan                      ④Ibert 《Pièce》                      ⑤Honneger 《Danse de la chèvre》                      ⑥Kark-Elert 《Sonata “Appassionata”》 Op.140</p> <p>【注意】 (1) (2)、いずれも楽譜を見てもよい。</p>
オーボエ	<p>(1) J.N.Hummel 《Introduction, Theme &amp; Variations》 Op.102                      最初から、Var.2まで演奏すること。</p> <p>(2) Hindemith 《ソナタ》 第1楽章</p> <p>(3) 任意の協奏曲 第1楽章あるいは終楽章</p> <p>【注意】 (1) (2) (3)の順で、演奏すること。いずれも楽譜を見てもよい。伴奏なし。</p>
クラリネット	<p>(1) Alfred Uhl 《48 Etüden für Klarinette》より                      No.1、No.3、No.6の3曲を演奏すること。</p> <p>(2) Weber 《Concertino》 Op.26 全曲</p> <p>【注意】 (1) (2)、いずれも楽譜を見てもよい。伴奏なし。</p>
ファゴット	<p>(1) K.Stamitz 《協奏曲 へ長調》より第1楽章(カデンツァを含む)</p> <p>(2) 自由曲(2曲)(無伴奏作品、ソナタ、小品他)</p> <p>【注意】 いずれも暗譜での演奏が望ましい。伴奏なし。</p>
サクソフォン	<p>(1) A.K.Glazunov 《Concerto in E flat major for Alto Saxophone and String Orchestra》練習番号16の手前まで。</p> <p>(2) 自由曲(1曲)</p> <p>【注意】 楽譜を見てもよい。伴奏なし。</p>
ホルン	<p>(1) 任意の協奏曲の第1楽章</p> <p>(2) 上記の協奏曲と時代様式の異なる自由曲(1曲)</p> <p>【注意】 楽譜を見てもよい。伴奏なし。カデンツァはなし。</p>
トランペット	<p>(1) 任意の協奏曲またはソナタの第1楽章</p> <p>(2) 自由曲(1曲)                      ※エチュードではあるが、シャルリエ-Théo Charlier 《Trente-six études Transcendantes》に限り、その中から1曲を選んで自由曲としてもよい。</p> <p>【注意】 楽譜を見てもよい。伴奏なし。カデンツァの有無は問わない。</p>
トロンボーン	<p>(1) C.Kopprasch 《60 Etude for Trombone》(版指定無)                      No.16、No.17、No.19、No.22、No.23、No.24、No.28、No.30、No.31、No.33 より、任意の2曲</p> <p>(2) 自由曲(1曲)</p> <p>【注意】 (1) (2)、いずれも楽譜を見てもよい。伴奏なし。</p>
チューバ	<p>(1) C.Kopprasch 《60 Selected Studies for Tuba》(Robert King 版)より No.17、No.19、No.21</p> <p>(2) M.Bordoni 《43 Bel Canto Studies for Tuba》(Robert King 版)より No.13</p> <p>【注意】 (1) (2)、いずれも楽譜を見てもよい。伴奏なし。</p>



ユーフォニアム	<p>(1) C.Kopprasch 《60 Selected Studies for Trombone》(C.Fischer 版) Book. I より No.8、No.13、No.14(当日指定)</p> <p>(2) A.Capuzzi 《Andante and Ronde (from Concerto for Double Bass)》(Hinrichsen 版 No.1474) ※「Rondo」は、記号Gの前まで演奏すること。</p> <p>【注意】 楽譜を見てもよい。伴奏なし。</p>
リコーダー	<p>次の(1)(2)を演奏すること。</p> <p>(1) A.Vivaldi：任意の協奏曲全楽章</p> <p>(2) G.Ph.Teleman：任意の協奏曲全楽章</p> <p>【注意】 伴奏者は本学で手配する。伴奏者との練習は、試験当日の指定した時間に行う。 必ず415Hzのリコーダーを使用すること(440Hzは不可)。</p>
打楽器	<p>(1) または(2)を選択し、演奏すること。小太鼓で受験する場合、楽器は、志願者自身で用意すること。</p> <p>(1) マリンバ 課題曲 Paul Creston 《Concertino for Marimba》 クレストン《マリンバ小協奏曲》より 第1楽章 ※暗譜で演奏すること。伴奏なし。</p> <p>自由曲 任意の1曲(10分以内) ※暗譜で演奏すること。伴奏なし。</p> <p>小太鼓 課題曲 Jacques Delécluse 《Douze Etudes pour Caisse-Claire》 ドレクリューズ《小太鼓のための12の練習曲》より第1番 ※楽譜を見てもよい。</p> <p>(2) マリンバ 課題曲 J.S.Bach 《Drei Sonaten und Drei Partiten für Violino Solo》 バッハ《無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第1番》BWV.1001より(Presto) ※楽譜を見てもよい。</p> <p>小太鼓 課題曲 Anthony J.Cirone 《Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare Drum》 シローン《ポートレート・イン・リズム》より任意の1曲 ※楽譜を見てもよい。</p> <p>Jacques Delécluse 《Douze Etudes pour Caisse-Claire》 ドレクリューズ《小太鼓のための12の練習曲》より当日3曲指定 ※楽譜を見てもよい。</p>
声乐	<p>次の(1)、(2)を暗譜で演奏すること。歌詞は原語に限る。</p> <p>(1) 任意の外国歌曲4曲、日本歌曲3曲を選び、専門実技曲目記入票に記入して提出すること。その中から外国歌曲2曲、日本歌曲1曲、計3曲が当日指定される。</p> <p>(2) (1)で選択したもの以外の任意の曲1曲(オペラアリア可)。</p> <p>【注意】 伴奏者は本学で手配する。伴奏者との練習は、試験当日の指定した時間に行う。 志願者は、実技曲目記入票に記入した8曲の伴奏譜を、各2部ずつ出願書類に添えて提出すること。 伴奏譜の作り方は12ページ参照。</p>



例題

課題曲

演奏家コース

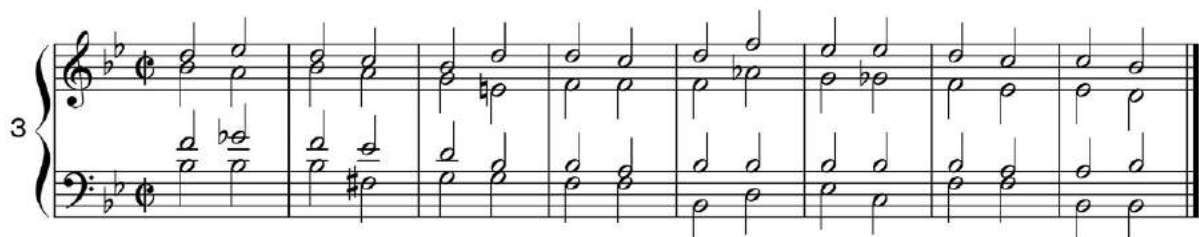
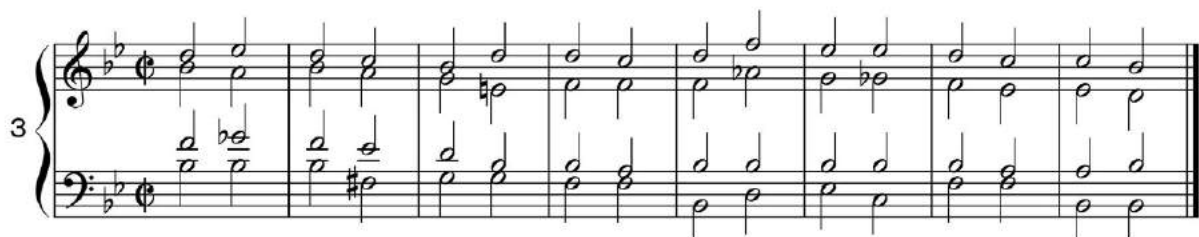
例題 聴音  
初見視唱

器楽・声楽・グローバル教養コース

課題曲 視唱課題曲  
例題 聴音

# 例題

## 演奏家コース 聴音 ～ ピアノ・オルガン・チェンバロ専門 ～



例題

演奏家コース聴音  
↳ピアノ・オルガン・チェンバロ専門  
↳

# 演奏家コース 聴音 ～鍵盤楽器以外の各専門～



# 演奏家コース 初見視唱 ～全ての専門～



例題

演奏家コース聴音

↳ 鍵盤楽器以外の各専門

↳ 演奏家コース初見視唱

↳ 全ての専門

課題曲

# 器楽・声楽・グローバル教養コース 視唱課題曲 No.1

Moderato

1

練習用の  
和音伴奏

*p* *mf* *f*

*mp*

課題曲

器楽・声楽・グローバル教養コース 視唱課題曲 No.1

# 器楽・声楽・グローバル教養コース 視唱課題曲 No.2

## Andantino cantabile

2

*mp*

練習用の  
和音伴奏

*mf*

*p* *mp*

*f*

課題曲

器楽・声楽・グローバル教養コース 視唱課題曲 No.2

課題曲

器楽・声楽・グローバル教養コース 視唱課題曲 No.3

Allegretto spiritoso

3

*f*

練習用の和音伴奏

*mf* *f*

*sub.p*

*mf* *f*

課題曲

器楽・声楽・グローバル教養コース 視唱課題曲 No.3



# 器楽・声楽・グローバル教養コース 視唱課題曲 No.4

Alla Choral

4

*mf*

練習用の  
和音伴奏

*mf*

*f*

*mf*

課題曲

器楽・声楽・グローバル教養コース 視唱課題曲 No.4

Alla Sarabando

5

*mf*

練習用の  
和音伴奏

*mp* *mf*

*f*

*mf* *f*

# 器楽・声楽・グローバル教養コース 視唱課題曲 No.6

Larghetto

6

*mp*

練習用の  
和音伴奏

*mf* *f*

*f*

*mf* *f*

課題曲

器楽・声楽・グローバル教養コース 視唱課題曲 No.6

例題

# 器楽・声楽・グローバル教養コース聴音



例題

器楽・声楽・グローバル教養コース聴音

# 各種選考試験

## 演奏家コース

選考試験

## 器楽・声楽・グローバル教養コース

特待生選考試験

## AO入試(第1回～第3回)、指定校推薦入試合格者対象

### ■募集定員

若干名

### ■募集コース・専門

#### 演奏家コース

・ピアノ(鍵盤楽器)	ピアノ、オルガン、チェンバロ
・弦 楽 器	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ギター、ハープ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、リュート
・管 楽 器	フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム、リコーダー
・打 楽 器	
・声 楽	

### ■出願資格

以下のいずれかに該当する方

- (1) AO入試(第1回～第3回)合格者で入学手続きを済ませた方
- (2) 指定校推薦入試合格者で入学手続きを済ませた方

### ■出願期間

2020年1月6日(月)～2020年1月16日(木) ※期間内消印有効

### ■検定料

22,000円

※納入された検定料は、いかなる理由においても返金いたしません。

### ■出願書類

- (1) 出願資格を証明する書類※1
- (2) 選考試験願書(AO入試(第1回～第3回)、指定校推薦入試合格者用)
- (3) 実技曲目記入票(演奏家コース選考試験志願者用)
- (4) 個人調書(演奏家コース選考試験志願者用)
- (5) 受験票

※1 既に合格した入試の出願の際に、調査書を提出していただいておりますが、選考試験出願に際し、再度提出してください。

### ■試験日程

2020年2月6日(木) 筆記試験

2月7日(金)または2月8日(土) 専門実技試験

※試験スケジュール表については、2020年2月5日(水)12:00～15:00までの間、または筆記試験受付時に交付します。

## ■ 試験科目

- 専門実技
- 音楽理論…楽典(所要時間50分)
- ソルフェージュ…下記(a)と(b)を受験すること
  - (a) 初見視唱
  - (b) 聴音：ピアノ・オルガン・チェンバロ専門：8小節程度の単旋律聴音・2声聴音・和声聴音の合計3題  
鍵盤楽器以外の各専門：8小節程度の、旋律聴音1題  
(66～67ページの例題参照)

※副科ピアノ、面接はありません。

## ■ 専門実技試験課題

「選抜入試(日程A)」と同課題で実施します。本要項60～63ページ記載の各楽器の専門実技試験課題をご覧ください。

※60ページ記載の「専門実技試験課題注意事項」を必ず確認すること。

## ■ 選考結果

2020年2月13日(木)に選考結果を選考試験願書記載の住所に簡易書留にて郵送します。

## ■ 演奏家コースへの変更手続き

2020年2月14日(金)～2020年3月6日(金)

選考試験合格者は、下記①②を手続き期間内に郵送(必着)すること。書類の到着を以て演奏家コースへの変更手続きを完了します。

- ① 受験票
- ② 「入学許可証(器楽コースまたは声楽コース)」

※既に合格している入試方式の入学手続き後、本学から発行しているもの。

## ■ 演奏家コース特待生の選考について

この「演奏家コース選考試験」は演奏家コース特待生の選考も兼ねており、「演奏家コース選考試験」の志願者は特別な出願手続きなしに特待生選考の対象者となります。

専門実技の成績が特待生基準に達していた場合、特待生S～Cのいずれかとなります。なお特待生の詳細については37ページを参照してください。

## AO入試(第1回～第3回)、指定校推薦入試合格者対象

### ■ 募集定員

若干名

### ■ 出願資格

以下のいずれかに該当する方

- (1) AO入試(第1回～第3回)合格者で入学手続きを済ませた方
- (2) 指定校推薦入試合格者で入学手続きを済ませた方

### ■ 出願期間

2020年1月6日(月)～2020年1月16日(木) ※期間内消印有効

### ■ 検定料

無料

### ■ 出願書類

- (1) 出願資格を証明する書類※1
- (2) 選考試験願書(AO入試(第1回～第3回)、指定校推薦入試合格者用)
- (3) 実技曲目記入票(器楽・声楽コース特待生選考試験志願者用)
- (4) 個人調書(器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考試験志願者用)
- (5) 受験票

※1 既に合格した入試の出願の際に、調査書を提出していただいておりますが、選考試験出願に際し、再度提出してください。

### ■ 試験日程

2020年2月5日(水)

※試験スケジュール表については、2020年2月3日(月)12:00～15:00までの間、または2月5日(水)受付時に交付します。



## ■ 試験科目

- 専門実技(グローバル教養コースは下記試験課題参照)

※器楽・声楽コースの筆記試験、副科実技、面接はありません。

## ■ 専門実技試験課題(器楽コースおよび声楽コース)

「選抜入試(日程A)」と同課題で実施します。本要項48～57ページの各楽器の専門実技試験課題をご覧ください。

## ■ 試験課題(グローバル教養コース)

- 音楽学専門

「音楽学小論文」(60分)

※58ページ記載の音楽学専門課題〔選抜入試〕I.「音楽学小論文」と同課題で選考試験を実施します。

- 音楽教育専門

「音楽教育小論文」(60分)

※58ページ記載の音楽教育専門課題〔選抜入試〕II.「音楽教育小論文」と同課題で選考試験を実施します。

- 文化創造マネジメント専門

「英語」(60分)

※58ページ記載の文化創造マネジメント専門課題〔選抜入試〕I.「英語」と同課題で選考試験を実施します。

## ■ 選考結果

2020年2月13日(木)に選考結果を選考試験願書記載の住所に簡易書留にて郵送します。

選考試験合格者は下記期間内に受験票を郵送(必着)すること。

2020年2月14日(金)～2020年3月6日(金)

## ■ 器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考

専門実技の成績が特待生基準に達していた場合、特待生A～Cのいずれかに選出されます。特待生の詳細については37ページを参照してください。



# その他

奨学金

教育ローン

学生寮

講習会・音楽教室

# 日本学生支援機構 奨学金

日本学生支援機構の奨学金は本学で学ぶ多くの学生が利用している貸与型の奨学金です。第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子）ともに貸与を受けたい月額を選ぶことができます（採用枠数に限りがあります）。また一定の条件を満たし入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合、第一種、第二種のどちらか（または、両方）と同時の申込みが必要です。

返還は卒業後に開始となるため、在学期間中安心して勉学に専心することができます。返還時の負担などを十分に考慮し、適切な金額を選択して申込みことが大切です。

## ■奨学金の申込み方法

以下の2通りがあります。

### 1.大学に入学する前の申込み（予約採用）

申込み方法、募集の時期等の詳細は、該当校等にお問い合わせください。

高等学校に在学中の方	在学高等学校等
高等学校等を2年以内に卒業した方	出身高等学校等
大学入学資格検定または 高等学校卒業程度認定試験合格者	日本学生支援機構

### 2.大学に在学中の申込み（在学採用）

申込みは大学を通じて行い、募集は原則として毎年春に行います。本学では説明会を4月に行っています。入学後のガイダンスで案内しますので、希望者は必ずこの説明会に参加してください。

## ■奨学金の種類

- ①第一種奨学金（無利子）
- ②第二種奨学金（有利子）

※経済状況等により、第一種奨学金と第二種奨学金両方の貸与を受けることができます。

## ■貸与月額

第一種奨学金では、学種別・設置者・通学形態別に定められているほか、2万円・3万円・4万円より選択することもできます。

第二種奨学金では、自宅・自宅外にかかわらず下記の月額から選択でき、希望により、採用された年度の4月に遡って借りることができます。貸与期間中に必要に応じて、貸与月額を変更することもできます。

### 2019年度 入学者の貸与月額

	私立	
	自宅通学	自宅外通学
第一種奨学金	54,000円	50,000円、64,000円から選択
	20,000円、30,000円、40,000円から選択	
第二種奨学金	20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、60,000円、70,000円、80,000円、90,000円、100,000円、110,000円、120,000円から選択	

※詳細は日本学生支援機構のホームページをご参照ください。

# その他 各種教育ローン

本学では日本政策金融公庫の「国の教育ローン」、みずほ銀行の「教育ローン」、株式会社オリエントコーポレーションの提携教育ローン「学費サポートプラン」を、受験生および受験生の保証人の方々にご案内しています。

## ■教育ローン等概要

項目	国の教育ローン	みずほ銀行教育ローン	オリコ学費サポートプラン
取扱機関	株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業	株式会社みずほ銀行	株式会社オリエントコーポレーション
申込者	(原則)保護者	保護者	保護者
対象	入学金・授業料等学納金など	入学金・授業料等学納金	入学金・授業料等学納金
年収要件	子どもの人数により要件が異なります。詳しくは取扱機関にお問い合わせください。(子どもの人数が1人の場合、世帯の年間収入が給与所得者790万円以内)	前年度収入200万円以上で安定かつ継続した収入のある方	安定した収入のある方 ※年収・勤続年数の制限はございません
申込方法	店頭、郵送、インターネット	店頭、郵送、インターネット	インターネットもしくは郵送
返済方法	通常払(元利均等払)／元金据置払い	通常払い／元金据置払い	通常払い／元金据置払い／親子リレー返済
保証	(公財)教育資金融資保証基金 または連帯保証人(学生の4親等以内の親族)	原則不要	原則不要
手続期間	20日程度	1週間～2週間	1週間 ※Web申込の場合審査は原則1日
借入金の振込	お客さまの口座へ振込	学校指定の口座へ振込	学校指定の口座へ立替
必要書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人確認資料</li> <li>住民票の写し(原本)</li> <li>保護者様の源泉徴収票または確定申告書(控)</li> <li>住宅ローン(または家賃)と公共料金のお支払いを確認できる預金通帳(最近6ヵ月以上)</li> </ul> (在学費用の場合) <ul style="list-style-type: none"> <li>在学を確認できる書類</li> <li>お使いみちを確認できる書類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人確認資料</li> <li>収入証明書</li> <li>納付通知書</li> </ul> ※支払済である場合は領収書など(支払後1ヵ月以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生証の写し</li> <li>納付通知書の写し</li> </ul>

## 国の教育ローン

お申込みに関するご相談・お問い合わせ・借入申込書等資料ご請求先  
**教育ローンコールセンター TEL 0570-008656 (または03-5321-8656)**

## みずほ銀行教育ローン

資料ご請求先  
**みずほ銀行(稲荷町支店) TEL 03-3842-3265 FAX 03-3844-3170**

## オリコ学費サポートプラン

資料ご請求先  
**オリコ学費サポートデスク ☎0120-517-325**

# その他 学生寮について

## ①入寮対象

大学に在籍、または入学手続きを済ませた遠方出身者で、自宅からの通学が不可能と判断される者。  
(上野駅を起点として路線距離が100kmを超過する駅を最寄駅とすることが目安になります。)

## ②入寮期間:2年間

大学2年修了時の審査により更新が認められることがあります。(更新料80,000円)  
入寮期限の上限は、卒業までの年数と同期間とします。留年や卒業後の学内進学による延長は認められません。

## ③申込開始日:2019年12月16日(月)

入学試験に合格し、入学手続きを完了した後、大学事務部学生支援課(電話 03-3842-1020)から「入寮希望届」用紙を取り寄せ、必要事項を記入・捺印の上、大学事務部学生支援課宛てに提出(郵送可)してください。

## ④入寮審査

入学試験での専門実技試験の成績を参考に審査をします。寮担当の学生委員(教員)との面接を行う場合もあります。

## ⑤結果通知

入寮可と通知された入寮希望者には、「入寮確認書」の提出により、入寮手続を進めます。  
その後、入寮費の納入、「入寮誓約書」の提出を経て、正式に入寮許可となります。

## ⑥学生寮の案内

寮名称	上野学園 上野寮(女子寮) 上野学園大学から徒歩3分	上野学園 田端寮(女子寮) JR田端駅から徒歩3分	上野学園 上野寮別館 (男女混合寮) 上野学園大学から徒歩2分
構造	鉄筋コンクリート5階建て	鉄筋コンクリート6階建て	鉄筋コンクリート9階建て
基本設備	オートロック	オートロック	オートロック
	エレベータ	エレベータ	エレベータ
	メールボックス	メールボックス	メールボックス
	駐輪場	—	駐輪場
各室付帯設備	エアコン	エアコン	エアコン
	浴室	ユニットバス・洗面台付き	ユニットバス・洗面台付き
	洗面台		
	トイレ	トイレ	トイレ
	キッチン(ガスコンロ)	キッチン(IHクッキングヒーター)	キッチン(IHクッキングヒーター)
	クローゼット	クローゼット	クローゼット
駐輪場	要相談	無	無
入寮費	80,000円	80,000円	80,000円
室料(月額)	82,500円(1人部屋)	82,500円(1人部屋)	82,500円(1人部屋)
	122,500円(2人部屋)		
その他、費用	保険、メンテナンス料、 光熱費(月額)別途	保険、メンテナンス料、 光熱費(月額)別途	保険、メンテナンス料、 光熱費(月額)別途

### 【注意事項】

- 上記表の金額は、2019年度実績です。  
入寮費、室料等は改定となる場合がありますので、ご了承ください。  
※「上野寮」2人部屋の室料(月額)は、相部屋として入寮する場合、1名分の室料(月額)は、62,500円です。  
※家具使用料には、テーブルと椅子、ベッド、冷蔵庫、電子レンジ、掃除機、洗濯機、カーテンを含みます。  
※寮監は配置されておませんが、24時間体制で警備会社と提携しています。  
※食事の提供はありません。
- 2020年度空き部屋状況は未定となっております。
- 空き部屋がなくなり次第、受付を終了します。
- 寮の種類や部屋タイプは、ご希望に添えない場合があります。

## ■学生寮についてのお問い合わせ

上野学園大学 大学事務部学生支援課 03-3842-1020

# 音楽受験講習会・上野学園音楽教室(受験コース)のご紹介

## 音楽受験講習会(夏期・冬期)

上野学園では、受験生を対象とした音楽受験講習会を、夏期と冬期の2回開催しています。この音楽受験講習会はAO入試や推薦入試で合格された方で、「専門実技」「音楽理論(楽典)」「ソルフェージュ(聴音)」「副科ピアノ」の力を入学までにもっと伸ばしたい方、また入試の面接等で、入学前にこれらの科目をさらに学習するようアドバイスを受けた方にも受講していただけます。

本学に合格された方は「大学受験コース」を受講していただけます。このコースには「音楽基礎科目(音楽理論(楽典)・ソルフェージュの各クラス授業)」「専門実技」「副科ピアノ」の個人レッスンがあり、それぞれを必要に応じて単独もしくは組み合わせて受講することができます。

### ■開催期間

夏期音楽受験講習会…2019年7月30日(火)～2019年8月2日(金)

冬期音楽受験講習会…2019年12月24日(火)～2019年12月27日(金)

### ■受講料(税込)

2018年度音楽受験講習会(参考) ※2019年度については下記内容が変更になることがあります。

音楽基礎科目…20,000円

専門実技個人レッスン(1回40分×2回)…12,000円

副科ピアノ個人レッスン(1回30分×2回)…8,000円

※詳細につきましては、「上野学園音楽受験講習会」のパンフレットをご覧ください(パンフレットは5月下旬(夏期)、10月下旬(冬期)発行予定です。ご希望の方は入試センターまでご連絡ください)。

## 上野学園音楽教室(受験コース)

AO入試や推薦入試で合格された入学予定者の方で、「音楽理論(楽典)」「ソルフェージュ(聴音)」「副科ピアノ」「専門実技」の力を入学までにもっと伸ばしたい方、また入試の面接等の際、試験官から入学までにこれらの科目をさらに学習するようアドバイスがあった方のために、上野学園では、大学および同短期大学部教員等が講師として指導する音楽教室を設置しています。自分自身ではどの音楽教室に入ったらいいかわからない方や入学前に上野学園で行うレッスンの雰囲気にならなりたい方は、上野学園音楽教室での受講をおすすめします。遠方にお住まいの方につきましては別途ご相談ください。

### ■設置クラス

#### ①ソルフェージュ・クラス

90分の「ソルフェージュ」に加え、30分の「楽典」を用意しています。「楽典」の受講が必要な場合は、各入試方式の面接等で試験官からアドバイスがあります。受講者は事前に講師と面談の上、初級・中級・上級のいずれかのクラスで学んでいただけます。原則としてレッスンは月3回です。

#### ②ピアノ・クラス(副科ピアノ含む)

AO入試の予備診断の際で、副科ピアノの受講が必要な場合は試験官からアドバイスがあります。副科ピアノは原則として1回あたり45分、レッスンは月3回です。

#### ③弦楽器クラス ④管・打楽器クラス ⑤古楽クラス ⑥声楽クラス

### ■入室金・受講料(税込)

入室金…20,000円(随時入室可)

ソルフェージュ(1回あたり90分)…15,000円/月3回

ソルフェージュ(1回あたり90分)+楽典(1回あたり30分)…18,000円/月3回

副科ピアノ(1回あたり45分)…15,000円/月3回

その他クラス…クラス毎に異なります。

※詳細につきましては、「上野学園音楽教室(受験コース)」のパンフレットをご覧ください(パンフレットをご希望の方は入試センターまでご連絡ください)。





# 出願書類



## 推 薦 書

年 月 日

上野学園大学

学長 前田昭雄 殿

所在地

学校名

校長名

印

下記の者は本校を2020年3月卒業見込みであり、貴学進学を希望しておりますので、推薦入学適格者と認め、ここに推薦いたします。

フリガナ	氏名	男・女	生年月日	年 月 日生
推薦理由				
在学中の特記事項				
記載責任者 職・氏名				

印

(切り取り)



## 推 薦 書

年 月 日

上野学園大学

学長 前田 昭雄 殿

所在地

学校名

校長名

印

下記の者は本校を2020年3月卒業見込みであり、貴学進学を希望しておりますので、推薦入学適格者と認め、ここに推薦いたします。

フリガナ		男・女	生年月日	年 月 日生
氏 名				
部活動名				
推薦理由				
所属する部活動での特記事項				
部活動顧問氏名				

印

(切り取り)



# 上野キャンパスご案内



## 交通機関および試験場までの所要時間

JR山手線・京浜東北線・常磐線…… 「上野駅」より 徒歩9分	京成線…………… 「京成上野駅」より 徒歩16分
東京メトロ銀座線・日比谷線…………… 「上野駅」より 徒歩9分	つくばエクスプレス…………… 「浅草駅」より 徒歩16分

## 上野学園大学周辺のホテルのご案内

### ●ホテルサンルート“ステラ”上野 TEL 03-5806-1200

上記ホテルでは上野学園特別優待料金の設定があります。詳細につきましては、上野学園の受験生である旨お申し出の上、各ホテルへ直接お問い合わせください。

(注1) ホテルでの事故等につきましては、本学ではその責任を負いかねます。

(注2) ホテルでの楽器の練習はできません。 (注3) その他各ホテルの約款にしたがってご宿泊ください。

## 個人情報の取り扱いについて

学校法人 上野学園 (以下「本学」という) は、個人情報保護の重大な責務を深く認識し、その責務を果たすために、本学内において以下の個人情報保護方針の周知徹底を図り、個人情報の保護に努めます。

1. 法律等の遵守について  
本学は、個人情報を適正に管理することは、コンプライアンスの一環であると認識し、個人情報の保護に関する法律及びその他規範を遵守し、個人情報の保護に努めます。
2. 個人情報の収集及び利用について  
本学は、個人情報を収集させていただく場合は、利用目的を特定し、ご本人に明示もしくは通知・公表する方法で収集し、その利用目的の範囲内においてのみ利用し、それが漏洩しないよう努めます。
3. 個人情報の第三者への提供・開示について  
本学は、法令の要請等によらない限り、ご本人の事前の同意なく個人情報を第三者に提供・開示することはありません。

4. 個人情報の管理体制について  
本学は、収集した個人情報へのアクセス、個人情報の紛失、改竄、漏洩、毀損などを防止するために適切な管理に努め、その目的のため、「個人情報保護委員会」を設置し、個人情報の適切な管理に取り組みます。

5. 個人情報の開示、訂正、追加、削除、利用停止等について  
本学は、保有する個人情報について、ご本人からの開示、訂正、追加、削除、利用停止等の請求があった場合は、請求される方がご本人であることを確認させていただいた上で、適切に対応させていただきます。なお、ご本人から本学に対する問い合わせの窓口は、以下のとおりとします。  
学校法人 上野学園 法人本部 (03-3842-1021直通)

本学は、この方針を適宜見直し、個人情報保護への取り組みについて一層の改善に努めます。

# 上野学園大学

音楽学部音楽学科（演奏家コース／器楽コース／声楽コース／グローバル教養コース）  
音楽専攻科

---

上野学園大学短期大学部／音楽科／専攻科音楽専攻 ※音楽療法士養成教育課程設置

---

資料請求・お問い合わせ：〒110-8642 東京都台東区東上野 4-24-12 TEL.03-3842-1024  
(入試センター)